ネットワークビデオレコーダー
KB-NVR04A/KB-NVR08A/KB-NVR16A
取扱説明書

お客様へ
このたびは、弊社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社ケービデバイス

改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2017.4.1	初版	初版とする

限定保証

㈱ケービデバイスは、KB-NVR04A/KB-NVR08A/KB-NVR16A（以降、KB-NVR シリーズ）が頒布されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証致します。
したがって、㈱ケービデバイスは、弊社へ返送して頂いたもので、弊社が点検して材料および仕上げに欠陥があると判断した場合には、弊社の責任の元で修理、もしくは交換を致します。
なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 1 年間かつ日本国内で使用される KB-NVR シリーズについてのみ有効なものとします。

免責事項

㈱ケービデバイスは、市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、本保証条件以外のものは一切保証致しません。㈱ケービデバイスは、いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用に起因する損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。お客様は、KB-NVR シリーズの使用、ならびに KB-NVR シリーズを使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。この保証は、最初の購入者であるお客様に対して適用され、お客様が KB-NVR シリーズを転売された第三者には適用されません。㈱ケービデバイスは、第三者からの、または第三者の為になすお客様のいかなる請求に関しても責任を負わないものとします。
以下に挙げる場合は、保証の対象外とさせて頂きます。

① 火災・地震、第三者による行為、その他の事故により KB-NVR シリーズの不具合が発生した場合。
② お客様の故意もしくは過失、誤用、乱用、その他の異常な条件下での使用により KB-NVR シリーズの不具合が発生した場合。
③ お客様が、KB-NVR シリーズに手を加えて改造、修理を行った場合。
④ ユーザーシステムの使用や使用方法に起因して発生した損害など。

目次

安全にお使いいただくために 6
使用上のご注意 9
1 章 はじめに 1-1
1-1 概要 1-1
1-2 同梱品 1-2
1-3 外観 1-3
1-4 各種機種の接続 1-5
1-4-1 モニターとの接続 1-5
1-4-2 電源の接続 1-5
1-4-3 カメラとの接続 1-6
1-4-4 USB デバイスとの接続 1-7
1-5 本製品の起動 1-8
1-5-1 初回起動時のパスワード設定 1-8
1-5-2 2 回目以降の起動 1-10
1-6 ログアウト/シャットダウン 1-11
1-6-1 ログアウト 1-11
1-6-2 シャットダウン 1-12
2 章 ライブ監視 2-1
2-1 ライブ画面の構成 2-1
2-1-1 画面ロック手順 2-6
2-2 デジタルズーム 2-7
2-3 スナップショット 2-8
3 章 記録データの検索 3-1
3-1 検索画面への移動 3-1
3-2 検索手順 3-2
4 章 記録データの再生 4-1
4-1 再生画面への移動 4-1
4-2 再生画面の構成 4-2
4-3 再生リストからの再生 4-4
5 章 記録データのダウンロード 5-1
5-1 ダウンロード画面への移動 5-1
5-2 ダウンロード手順 5-2
5-3 PC でのダウンロード映像の再生 5-4
5-3-1 Windows Media Player での再生 5-4
6 章 システム 6-1
6-1 システム画面への移動 6-1

6-2 IP カメラ登録 6-2
6-2-1 クイック設定 6-2
6-2-2 IP カメラの設定 6-5
6-2-3 自動検索 6-8
6-2-4 カメラの削除 6-10
6-3 記録スケジュールの設定 6-12
6-3-1 スケジュール設定手順 6-12
6-4 日付と時刻の設定 6-14
6-5 ネットワークの設定 6-17
6-6 メール送信の設定 6-19
6-7 イベントの設定 6-21
6-8 ダイナミック DNS の設定 6-22
6-9 ログインパスワードの変更 6-23
6-9-1 パスワード変更手順 6-23
6-10 設定情報の保存 / 読み込み 6-25
6-10-1 設定値の保存手順 6-25
6-10-2 設定値の読み込み手順 6-27
6-11 設定情報の初期化 6-29
6-12 ハードディスクの初期化 6-30
6-13 ログの取得 6-31
6-13-1 ログ取得手順 6-32
6-14 システム情報 6-34
6-15 マニュアル 6-35
6-15-1 マニュアルのダウンロード手順 6-36
6-15-2 クライアントソフトのダウンロード手順 6-37
7 章 製品仕様 7-1
8 章 初期設定リスト 8-1
9 章 外形寸法図 9-1
10 章録画日数表 10-1

安全にお使いいただくために

- KB-AHR シリーズをご使用になる前に、必ず本書をよく読んでください。
- 本書は必ず保管し、使用上不明な点などがある場合には再読し、ご確認ください。
- 本書を十分理解せずに KB-MVR シリーズをご使用にならないでください。
- KB-NVR シリーズの仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- KB-NVR シリーズは、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置などの人命、事故に関わる特別な品質、信頼性などが要求される用途でご使用にならないでください。
- KB-NVR シリーズは、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。
- 第三者からの不正アクセス防止の為、パスワードは必ず変更してください。
- 本書に載っている挿絵は、実際のものと若干異なる場合があります。

【 表示および図記号について 】

本書では、本製品を安全に正しくご使用頂くために、さまざまな表示をしています。
内容をご理解の上、本文をよくお読みください。

注意記号	禁止記号			指示記号		
一般注意	一般禁止	接触禁止	分解禁止	一般指示	電源を抜く	アース接続

警告

正しくご使用頂けない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

- **水にぬらさない**

火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所（温度、湿度変化の激しい場所）や水の入る場所に設置しないでください。

- **指定の電源電圧を超えない**

表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。
火災および感電の恐れがあります。

- **分解、改造をしない**

本製品を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。メンテナンスや検査が必要な場合には、製品を購入いただいた販売店にご連絡ください。

- **液体や金属片を上に置かない、挿入しない**

本製品の上に、水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したり
しないでください。本体内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

- **異常が発生したとき**

以下の場合は直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

・ 本体から煙や異臭または異音が発生したとき
・ 落下などにより本体または電源コードが損傷したとき

- **落雷時は触れない**

落雷があったときは、本体やケーブルに触れないでください。感電の恐れがあります。落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。

注意

正しくご使用頂けない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

- **ぬれた手で触れない**

濡れた手で本体およびケーブルに触れないでください。
感電の恐れがあります。

- **コードを置いたままにしない**

ケーブル類を通路に置いたままにしないでください。
通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

- **外部接続のときは外部装置の電源を切る**

本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。
本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。

- **製品に異物がついたとき**

製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。
異物の除去のために薬剤（シンナー、溶剤など）は使用しないでください。

- **使用する場所に注意**

以下の場所で使用または保管しないでください。

・ 温度が極端に低いか、高い場所
・ 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
・ 埃が多い場所
・ 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所

- **磁気を帯びたものを置かない**

クレジットカード、テレフォンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

- **静電気に注意**

静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

- **法規に準拠した廃棄を**

本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

使用上のご注意

仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本製品を使用しないでください。
強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、本製品は適切に作動しない可能性があります。
必ず正しい定格電圧で使用するようにしてください。
本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性があります。
その場合、使用中のデータの破損や記録ができないことがあります。
無電圧電源装置（UPS）を使用することを推奨します。
本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。
しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動に繋がる場合があります。
本製品は、外部機器（IP カメラ、USB 装置、LAN、HDD など）と接続して使用するため、外部要因による誤作動の恐れがあります。
安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
本製品から出力される映像情報は、個人情報やプライバシーに係わる機密情報が含まれる場合があります。
「個人情報保護法」に準拠した取り扱いを実施されることを推奨します。
本製品は、精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。火災や感電、本体の損傷に繋がります。
運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を弊社は負うことができません。
あらかじめご了承ください。
次の部品は消耗品です。寿命時間を目安にして交換してください。但し、この時間はあくまでも目安であり、部品の寿命時間を保証するものではありません。

- 冷却ファン ： 約 3 年（使用環境温度 25℃）
- HDD ： 約 3 年（使用環境温度 25℃）

部品交換の際は、販売店までお問い合わせください。
本背品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
（ハードウェア、ソフトウェア、文書など）

1章　はじめに

1-1　概要

KB-NVR シリーズは、IP カメラ専用のネットワークビデオレコーダーです。

4 台/8 台/16 台までのカメラを接続することができます。

記録には、圧縮率の高い H.264 形式を採用しております。

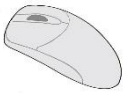
KB-NVR シリーズの操作は、マウスを用います。

プラグ&プレイに対応しており、弊社指定の IP カメラを接続することで、自動的にライブ映像を表示します。

（一部、対応していない IP カメラもあります。）

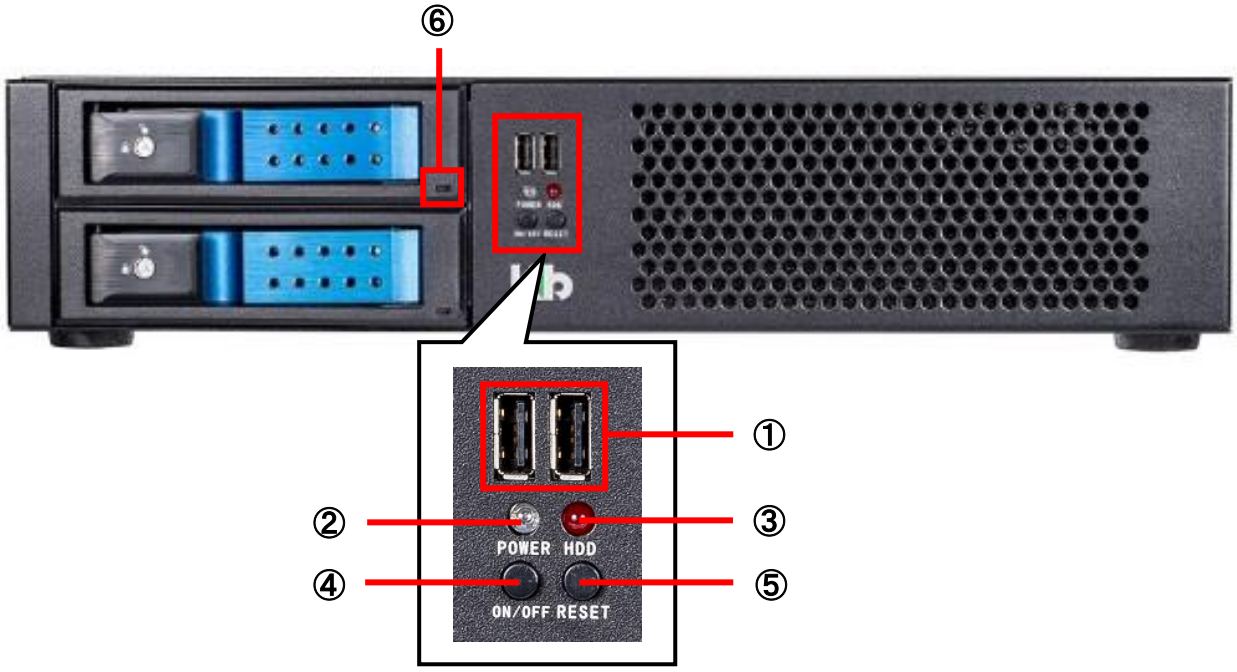
1-2　　同梱品

本製品は、以下のものがセット内容となっています。全ての同梱品が含まれているかご確認ください。

	レコーダー本体 1 台
	電源ケーブル 1 本
	マウス 1 台
	ラックマウント金具 2 個
	簡易取扱説明書

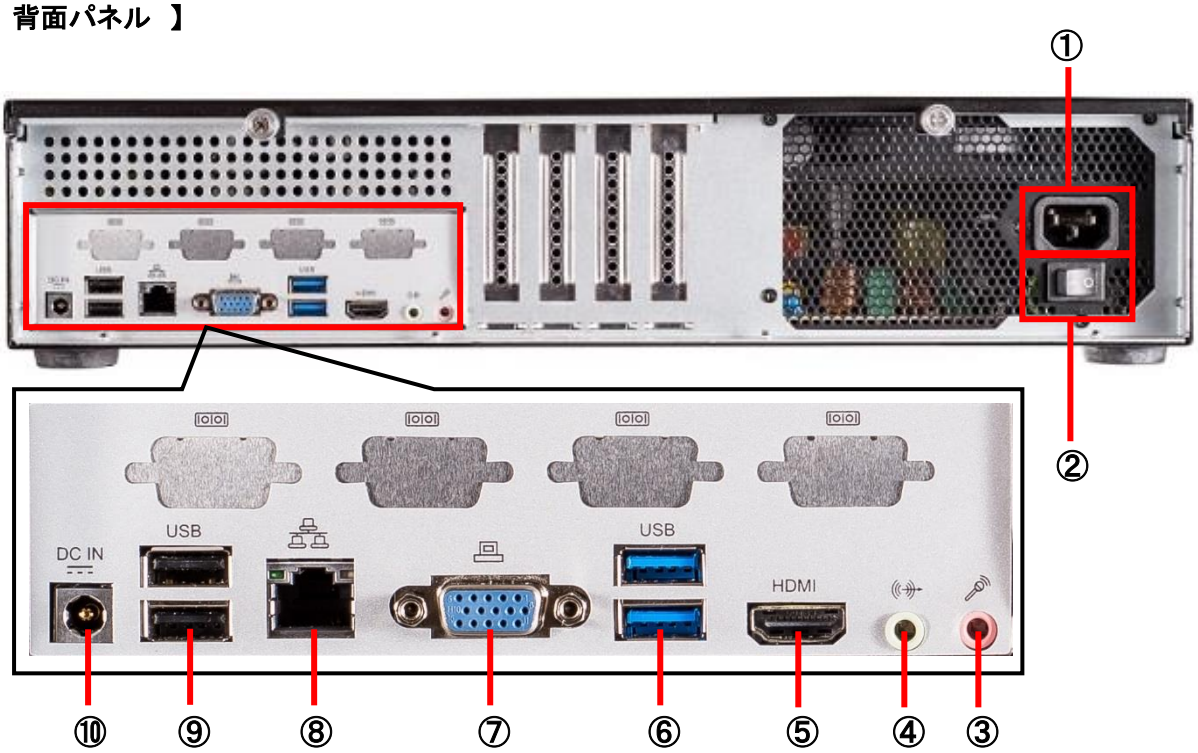
1-3　　外観

【 前面パネル 】



No	名前	用途
1	USB ポート	マウスまたは USB メモリーなどを接続します。
2	POWER ランプ	本製品の電源が ON の間、青く点灯します。
3	HDD ランプ	HDD へ記録中は、赤く点滅します。
4	ON/OFF ボタン	使用できません。
5	RESET ボタン	使用できません。
6	HDD 認識ランプ	HDD の認識中は、青く点灯します。

【 背面パネル 】



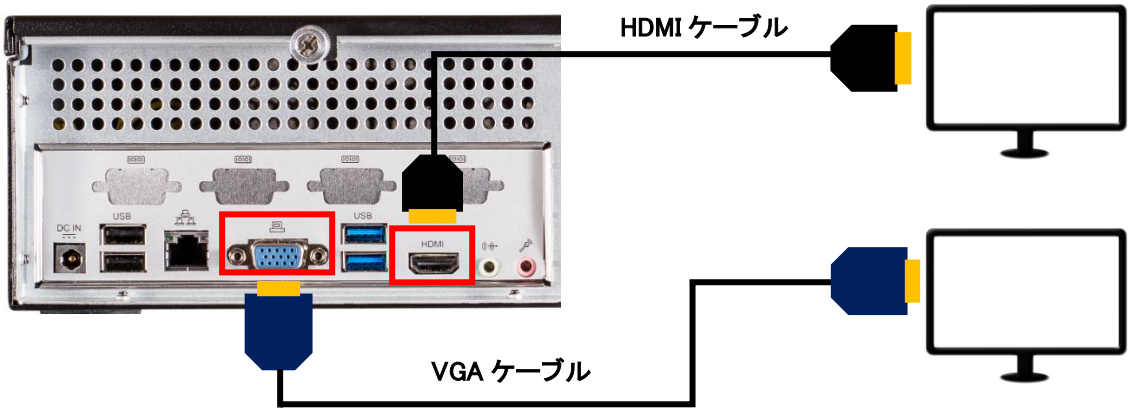
No	名前	端子名称	用途
1	AC100V	AC ジャック	本製品電源入力端子です。 付属の AC アダプターを接続してください。
2	電源スイッチ		本製品の電源 ON/OFF スイッチです。 本製品の起動時には、オンにしてください。
3	AUDIO IN	ステレオピン ジャック	音声入力端子です。 マイクなどを接続します。
4	AUDIO OUT	ステレオピン ジャック	音声出力端子です。 スピーカーなどを接続します。
5	HDMI	HDMI	映像出力端子です。 HDMI ケーブルを使用して、Full HD 対応モニターに 接続します。(出力解像度 ： 1920*1080 / 60Hz)
6	USB3.0	USB ポート	マウスまたは USB メモリーなどを接続します。
7	VGA	D-sub 15pin	VGA 端子で映像出力します。 (出力解像度 ： 1920*1080 / 60Hz)
8	LAN	RJ-45	ハブに接続するイーサネットポートです。 (100/1000BASE-T)
9	USB2.0	USB ポート	マウスまたは USB メモリーなどを接続します。
10	DC12V	DC ジャック	使用できません。

1-4　各種機種の接続

1-4-1　モニターとの接続

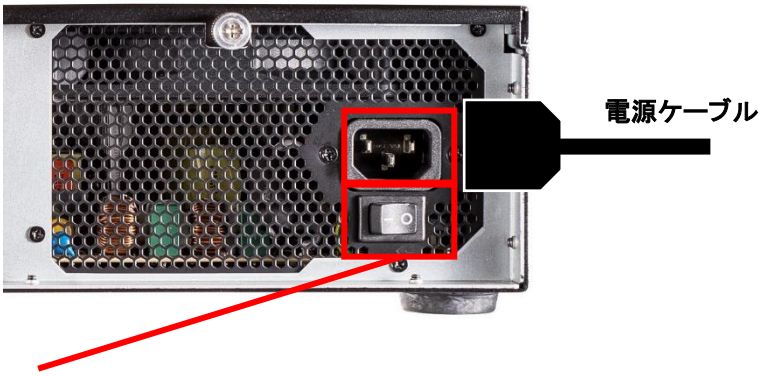
本製品の「HDMI」端子に、HDMI ケーブルでモニターを接続してください。
※お使いのモニターが 1920x1080 に対応していない場合は、正しく表示できません。

また、HDMI と VGA の同時映像出力ができます。
本製品の電源投入前に、接続する全てのモニターにあらかじめケーブルで接続したうえで、
電源を入れてください。



1-4-2　電源の接続

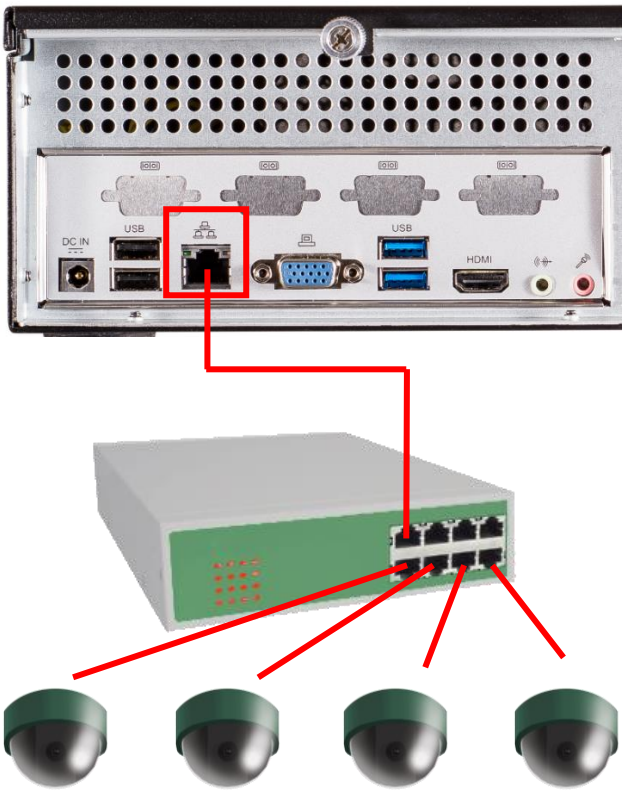
本製品には、動作用の AC 電源ケーブル（AC100V）が付属されています。
本製品の AC ジャックに電源ケーブルを接続してください。



※本製品を起動する際は、電源スイッチを ON にしてください。

1-4-3　　カメラとの接続

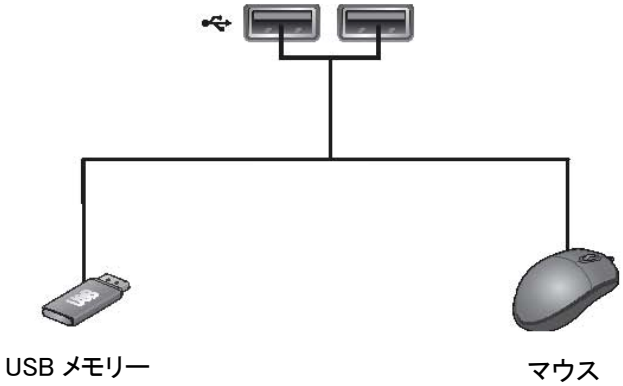
本製品は、プラグ&プレイ機能を搭載しており、当社指定の IP カメラであれば、
LAN ケーブルを接続するだけでライブ画面にカメラ映像が映ります。



- LAN ケーブルの長さは最大 100 メートルまで有効です。
  100 メートルを越えるとカメラとの接続でデータ損失や障害が発生する可能性があります。
  100 メートル以上の長さでケーブルを接続する必要がある場合は、個別の PoE リピーターなどを使用してケーブルを延長してください。

1-4-4　　USB デバイスとの接続

本製品前面および後面の USB 端子に、付属のマウスや USB メモリーを接続します。
USB メモリーを接続すると、記録映像のバックアップやファームウェアのアップデートができます。



USB メモリーの接続を解除する場合は、必ず、「デバイスアイコン」をクリックし、
「安全に取り外す」を実行してから本製品から取り外してください。

記録データの損失などにつながる恐れがあります。
※デバイスアイコンについては、「2-1 ライブ画面の構成」をご覧ください。

1-5　本製品の起動

1-5-1　初回起動時のパスワード設定

初回起動時には、ログインするためのパスワードを設定する必要があります。
以下の手順で、本製品を起動し、パスワードを設定してください。
設定したパスワードは、メモをとるなどいつでも確認がとれるようにしてください。
また、紛失しないように管理してください。

1. 本製品に電源ケーブルを接続します。
電源ケーブルの接続箇所については、「1-4-2 電源の接続」をご覧ください。

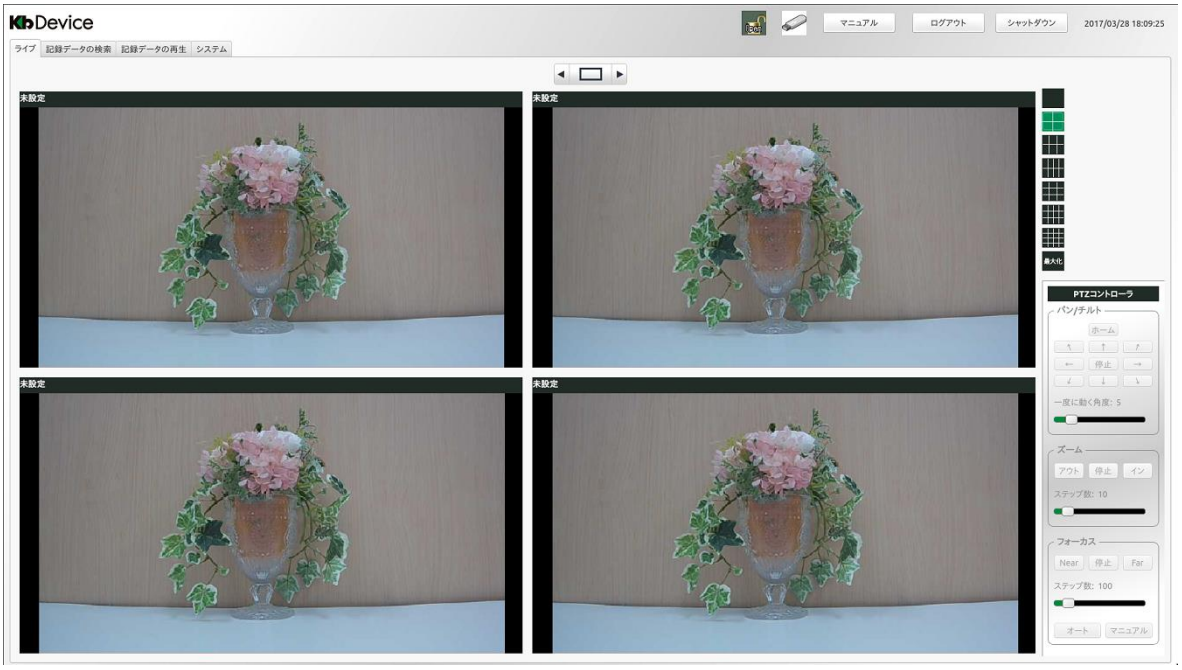
2. 後面にある電源スイッチをオンにします。
ビープ音が鳴り、前面の POWER LED / HDD LED が点灯します。
本製品が起動を開始します。

3. 起動プロセスが完了すると、パスワード登記録面が表示されます。

4. 「パスワード」欄に今後、ログインするためのパスワードを入力します。

5. 「パスワード（再入力）」欄に、「パスワード」欄で設定した値と同じ値を入力します。

6. パスワード設定後、「設定」をクリックするとログインできます。



1-5-2　　2 回目以降の起動

2 回目の起動以降は、以下の手順で起動してください。

1. 本製品に電源ケーブルを接続します。
電源ケーブルの接続箇所については、「1-4-2 電源の接続」をご覧ください。

2. 後面にある電源スイッチをオンにします。
ビープ音が鳴り、前面の POWER LED / HDD LED が点灯します。
本製品が起動を開始します。

3. 起動プロセスが完了すると、ログイン画面が表示されます。

4. キーボードの文字をクリックし、パスワードを入力します。

5. パスワードを入力後、「ログイン」をクリックします。
※ログインできない場合、正しくパスワードが入力できているかを確認してください。

1-6　ログアウト/シャットダウン

1-6-1　ログアウト

第三者による不正アクセス防止の為、画面から離れる場合は、ログアウトすることをお勧めします。
以下の手順でログアウトができます。

また、長時間本製品を操作していない場合、自動的にログアウトします。

1. 画面右上の「ログアウト」をクリックします。

2. 確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

3. 自動的にログアウトします。

※再度ログインする場合は、パスワードを入力してください。
※初期パスワードについては、「1-5 本製品の起動」をご覧ください。

1-6-2　　シャットダウン

本製品の電源を切る際は、以下の手順でシャットダウンできます。

※シャットダウンは必ず下記の手順で行ってください。

システムの動作中に電源コードを抜くなどの正常でない方法で電源を切ると、データ消失や HDD の寿命短縮に繋がる恐れがあります。

1.　画面右上の「シャットダウン」をクリックします。

2.　「認証」画面が表示されたら、キーボードの文字をクリックし、ログイン時のパスワードを入力します。

※初期パスワードについては、「1-5　本製品の起動」をご覧ください。

3.　パスワード入力後、「シャットダウン」をクリックします。

※自動的にシャットダウンを行います。

※本製品前面の POWER ランプが消灯したら、背面の電源スイッチをオフにして、電源ケーブルを本製品から取り外してください。

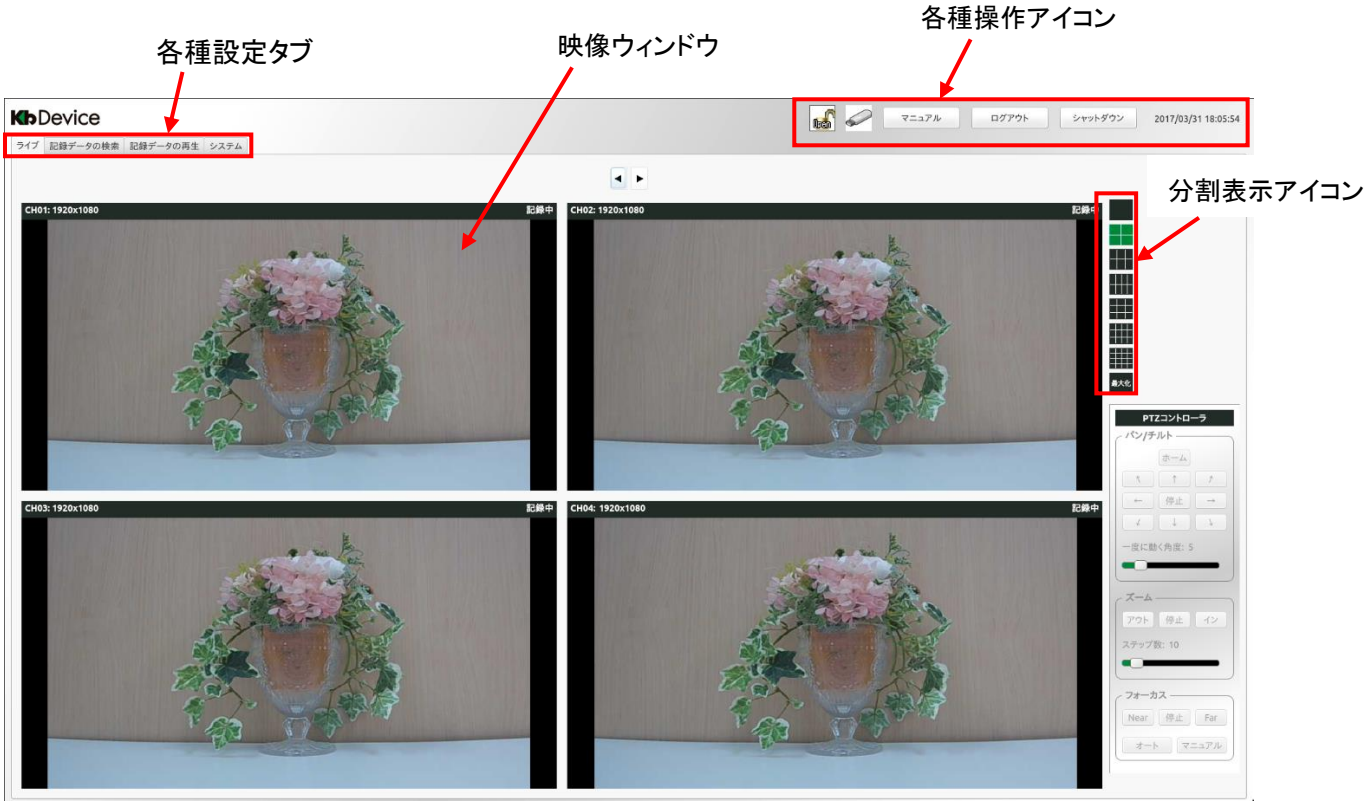
再度、本製品を起動する手順については、「1-5　本製品の起動」をご覧ください。

2章　　ライブ監視

本製品を起動すると、ライブ画面（現在のカメラ映像を閲覧する画面）が表示されます。

2-1　　ライブ画面の構成

本製品に接続されているカメラのライブ映像を閲覧できます。
また、検索画面への移動や画面分割表示の切り替えなどができます。



【　各種設定タブ　】

項目	内容
ライブ	ライブ画面を表示します。 本製品の基本画面となります。 カメラ映像を表示させるには、カメラ登録が必要になります。 カメラ登録については、「6-2 IP カメラ登録」をご覧ください。
記録データの検索	記録データの検索画面を表示します。 HDD に記録されている過去の映像を検索できます。 記録データの検索手順については、「4 章　記録データの再生」をご覧ください。

【 各種設定タブ 】

項目	内容
記録データの再生	記録データの再生画面を表示します。 「記録データの検索」にて設定した記録データを閲覧できます。 記録データ再生時の操作については、「4-2 再生画面の構成」を ご覧ください。
システム	本製品のシステム設定画面を表示します。 IP カメラの登録や本製品のネットワーク設定などができます。

【 各種操作アイコン 】

項目	内容
時刻表示 2017/03/06 16:29:20	現在の時刻を表示します。
シャットダウン シャットダウン	本製品をシャットダウンできます。 手順については、「1-6-2 シャットダウン」をご覧ください。
マニュアル マニュアル	本製品の取扱説明書（本書）を画面上に表示します。
デバイスアイコン 	USB メモリーの取り外しアイコンです。 アイコンをクリックすることで、安全に取り外しできます。 USB メモリーの取り外しについては、「1-4-4 USB デバイスの接続」を ご覧ください。
ログアウト ログアウト	ログアウトできます。 第三者による不正アクセス防止のため、画面から離れる際は、 ログアウトすることをお勧めします。 手順については、「1-6-1 ログアウト」をご覧ください。
画面ロック 	本製品の操作をロックできます。 第三者による不正アクセス防止のため、画面から離れる際は、 ロックすることをお勧めします。 画面のロックについては、「2-1-1 画面ロック手順」をご覧ください。

【 映像ウィンドウ 】

項目	内容
CH01～CH16	カメラチャンネルを表示します。
CAM01	カメラタイトルを表示します。 カメラタイトルは変更することができます。 変更手順については、「6-2-2 IP カメラの設定」をご覧ください。
1920x1080	現在のカメラの解像度を表示します。
記録中	現在の記録ステータスを表示します。 • 記録中 ： HDD へ記録中です。 • 記録停止 ： 記録を中断中です。記録を開始する場合は、記録スケジュールやカメラ設定を確認してください。記録スケジュールの設定については、「6-3 記録スケジュールの設定」をご覧ください。

【 分割表示アイコン 】

ライブ画面にて、映像ウィンドウの表示数を設定できます。

1 分割　4 分割　6 分割　8 分割　9 分割　12 分割　16 分割

各アイコンをクリックすると、分割数を変更できます。
分割表示中、任意の映像ウィンドウをダブルクリックすると、1 画面表示となります。
1 画面表示中、映像ウィンドウをダブルクリックすると、分割表示となります。

最大化

最大化アイコンをクリックすると、ライブ画面のうち表示ウィンドウを最大化して表示できます。
任意の表示ウィンドウをクリックし、最大化アイコンをクリックすると、表示が切り替わります。

最大化で表示中に表示ウィンドウをダブルクリックすると、もとの画面構成に戻ります。

【 PTZ コントローラ / パン/チルト 】

PTZ カメラが接続されているチャンネル枠をクリックすることで、画角を調整できます。

アイコン	内容
ホーム	ホームポジションに画角を調整します。
各矢印	それぞれに対応した方向へカメラが移動します。
停止	カメラの画角移動を停止します。
1 度に動く角度	カメラの画角調整時の動く角度を調整します。 ※接続しているカメラによって使用できない場合があります。

【 PTZ コントローラ / ズーム 】

各カメラチャンネル枠をクリックすることで、ズームイン/アウトの調整ができます。

アイコン	内容
アウト	ズームアウトします。
停止	ズームアウトまたはズームインの調整を停止します。
イン	ズームインします。
ステップ数	1 度にズームイン/アウトできる量を調整できます。 ※接続しているカメラによって使用できない場合があります。

【 PTZ コントローラ / フォーカス 】

各カメラチャンネル枠をクリックすることで、フォーカスの調整ができます。

アイコン	内容
Near	近い距離に対してフォーカスを調整します。 ※「マニュアル」を選択している必要があります。
停止	フォーカス調整を停止します。 ※「マニュアル」を選択している必要があります。
Far	遠い距離に対してフォーカスを調整します。 ※「マニュアル」を選択している必要があります。

アイコン	内容
ステップ数	1 度にフォーカス調整できる量を調整できます。 ※接続しているカメラによって使用できない場合があります。
オート	自動的に最適なフォーカス調整を行います。
マニュアル	手動でフォーカス調整ができます。

2-1-1　　画面ロック手順

ライブ画面上にて、ロック機能を有効にすることで、操作に制限をかけることができます。
第三者による不正アクセス防止の為、画面から離れる際は、ロック機能を有効にすることをお勧めします。
以下の手順で、画面のロックを有効にできます。

1. ライブ画面右上の各種操作アイコンより画面ロックアイコンをクリックします。

※「Open」と表示されている間は、ロック機能が無効となっています。

2. アイコン上に「Lock」と表示されていることを確認します。

※ロック機能が有効になっている間は、各種設定タブの操作ができなくなります。

3. ロック機能を解除する場合は、再度、画面ロックアイコンをクリックします。
その際、ログイン時のパスワードを入力します。

4. パスワード入力後、「ロック解除」をクリックします。
※ロックが解除できない場合は、パスワードが正確に入力されているかご確認ください。

5. 画面ロックアイコン上の表示が「Open」になっていることを確認します。

2-2　　デジタルズーム

ライブ画面にて、拡大表示したい箇所をデジタルズームすることができます。
以下の手順でデジタルズームが行えます。

1. デジタルズームを行う CH をクリックします。
クリックした CH には、緑色の枠が表示されます。

2. マウスカーソルが映像ウィンドウ上にある状態で、マウスホイールのスクロールすることでズームイン/ズームアウトができます。
また、デジタルズーム中にドラッグ&ドロップすることで、表示エリアを自由に移動できます。

本機能は、記録映像再生中でも同様に操作することができます。

2-3　　スナップショット

ライブ画面にて、現在の静止画を USB メモリーに保存できます。
なお、スナップショットを行う場合は、あらかじめ本製品に USB メモリーを接続した状態で実行してください。

USB メモリーの接続については、「1-4-4 USB デバイスの接続」をご覧ください。

1. ライブ画面右上にデバイスアイコンが表示されていることを確認します。

2. 任意のチャンネルの表示ウィンドウ上で右クリックします。

3. 「スナップショット」という項目が表示されたら、クリックします。

4. 静止画の保存先を選択します。
5. 「ファイル名」欄にて、キーボードを使用して保存名を設定します。

6. 設定後、「保存」をクリックします。

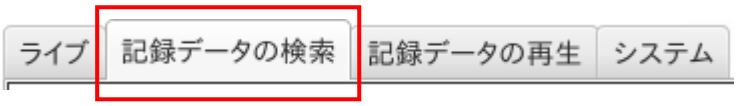
7. 「スナップショットを保存しました」と表示されたら「はい」をクリックして完了です。

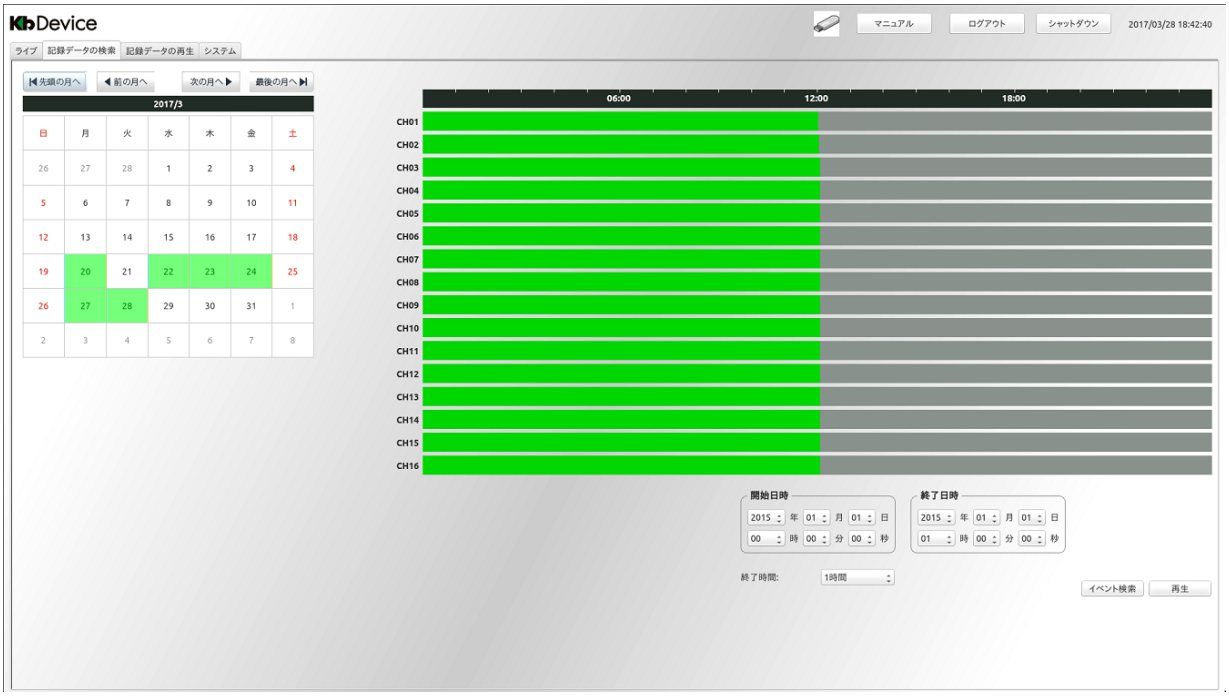
3章　　記録データの検索

HDD に記録した映像を検索（サーチ）します。

3-1　　検索画面への移動

画面左上の各種タブの「記録データの検索」をクリックすると検索画面に移動します。





3-2　　検索手順

以下の手順で記録映像の検索ができます。

1. サーチ画面左側のカレンダーから、検索する映像の日付を選択します。
※記録データのある日付は、背景が緑色で表示されます。

【 カレンダーの操作について 】

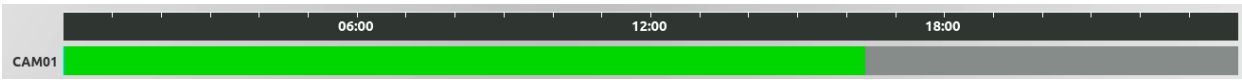
先頭の月へ ： 記録データのうち
最も古い記録データがある月を表示します。

前の月へ ： 現在の表示月から１つ前の月を表示します。

次の月へ ： 現在の表示月から１つ後の月を表示します。

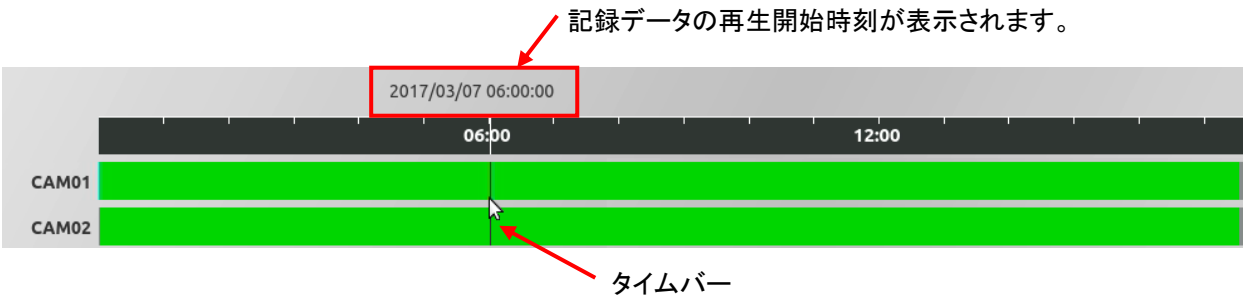
最後の月へ ： 記録データのうち
最も新しい記録データがある月を表示します。

2. カレンダーで日付を設定すると、画面右側にタイムラインを確認します。
※タイムライン上では、記録データのある時間帯が緑色で表示されます。



※当社指定のカメラを接続している場合、動きを検知した時間帯は、青色で表示されます。

3. ドラッグ&ドロップでタイムバーを移動させ、再生した映像の開始時刻を選択します。



4. 開始時刻選択後、画面右下の「開始日時」に時刻が入力されていることを確認します。

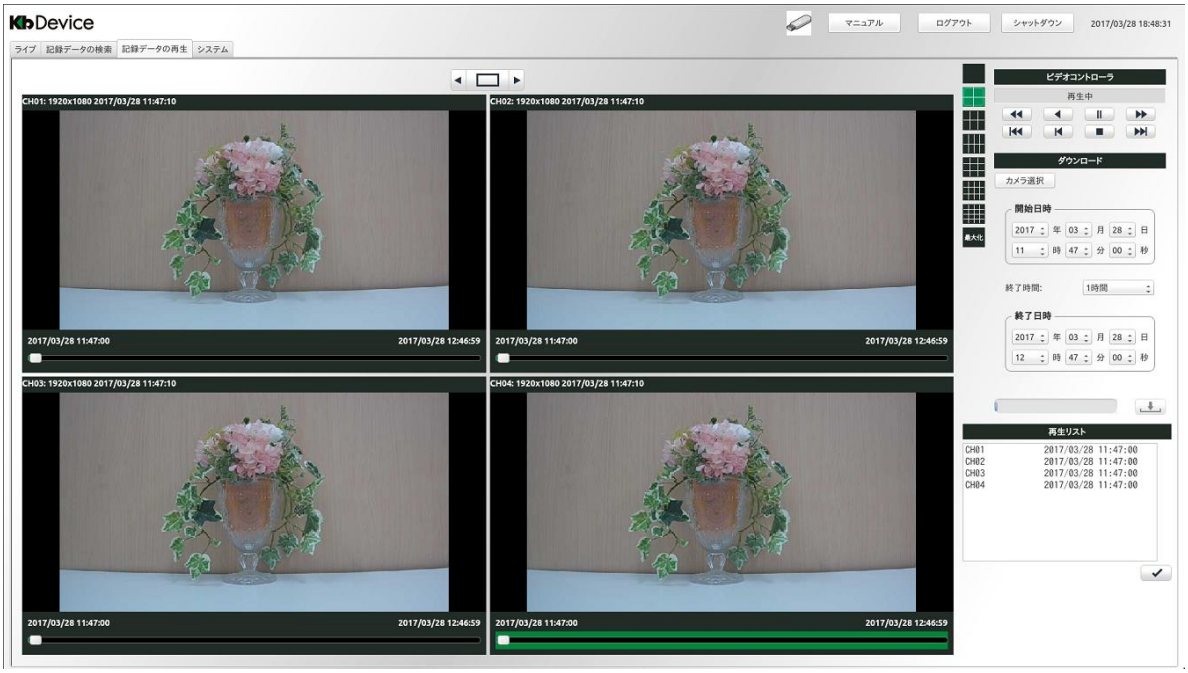
5. 「終了時間」欄をクリックし、「開始日時」から何分間の映像を再生するかを設定します。

選択肢 ： 5 分 ／ 10 分 ／ 15 分 ／ 15 分 ／ 30 分 ／ 45 分 ／ 1 時間 ／ 1 時間 30 分
2 時間 ／ 2 時間 30 分 ／ 3 時間 ／ 現在時刻まで

例 ： 「5 分」に設定した場合、再生開始時刻から 5 分間の映像を再生します。

※終了時間設定後、自動的に「終了日時」が設定されます。

6. 画面右下の「再生」をクリックします。
「記録データの再生」画面に自動的に移動し、記録映像が再生されます。
※再生画面での操作については、「4 章 記録データの再生」をご覧ください。



【 開始/終了日時について 】

再生したい映像の開始/終了日時が決まっている場合、直接設定して再生を開始できます。

年・月・日・時・分・秒の各欄をクリックし、日時を設定してください。

開始/終了日時の設定が完了したら、「再生」をクリックしてください。
自動的に再生画面に移動し、記録データの再生が開始されます。

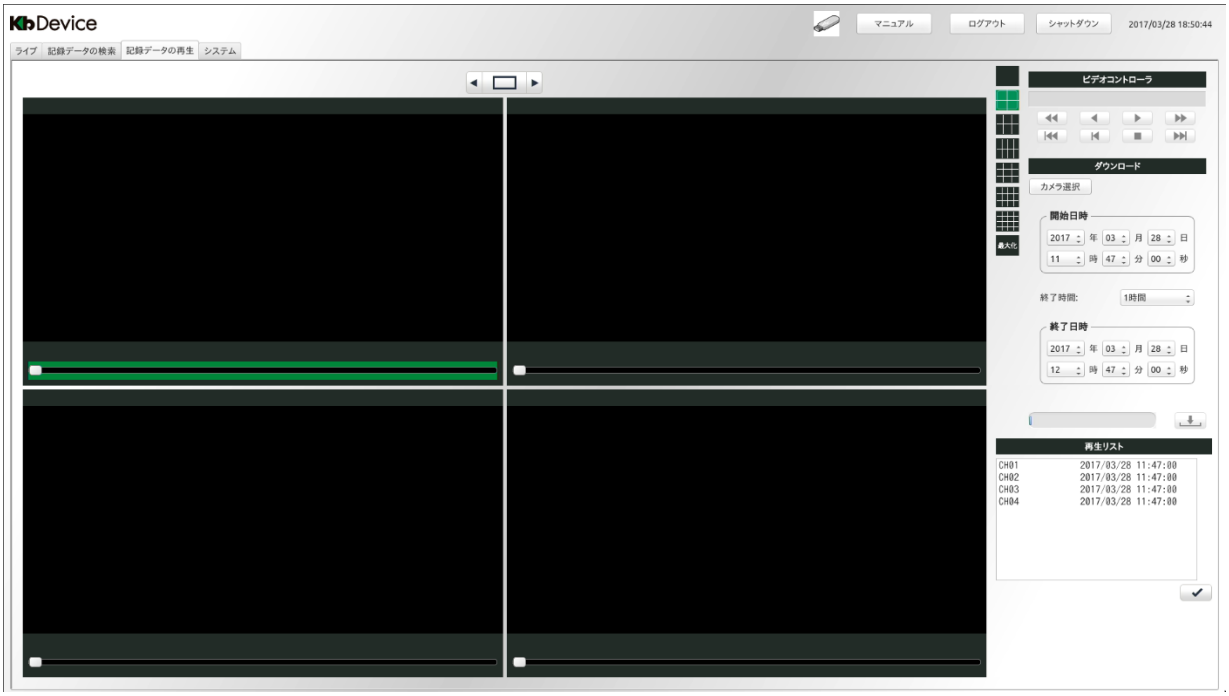
※再生画面での操作については、「4 章 記録データの再生」をご覧ください。

4章　　記録データの再生

「記録データの検索」で設定した記録データを再生します。

4-1　　再生画面への移動

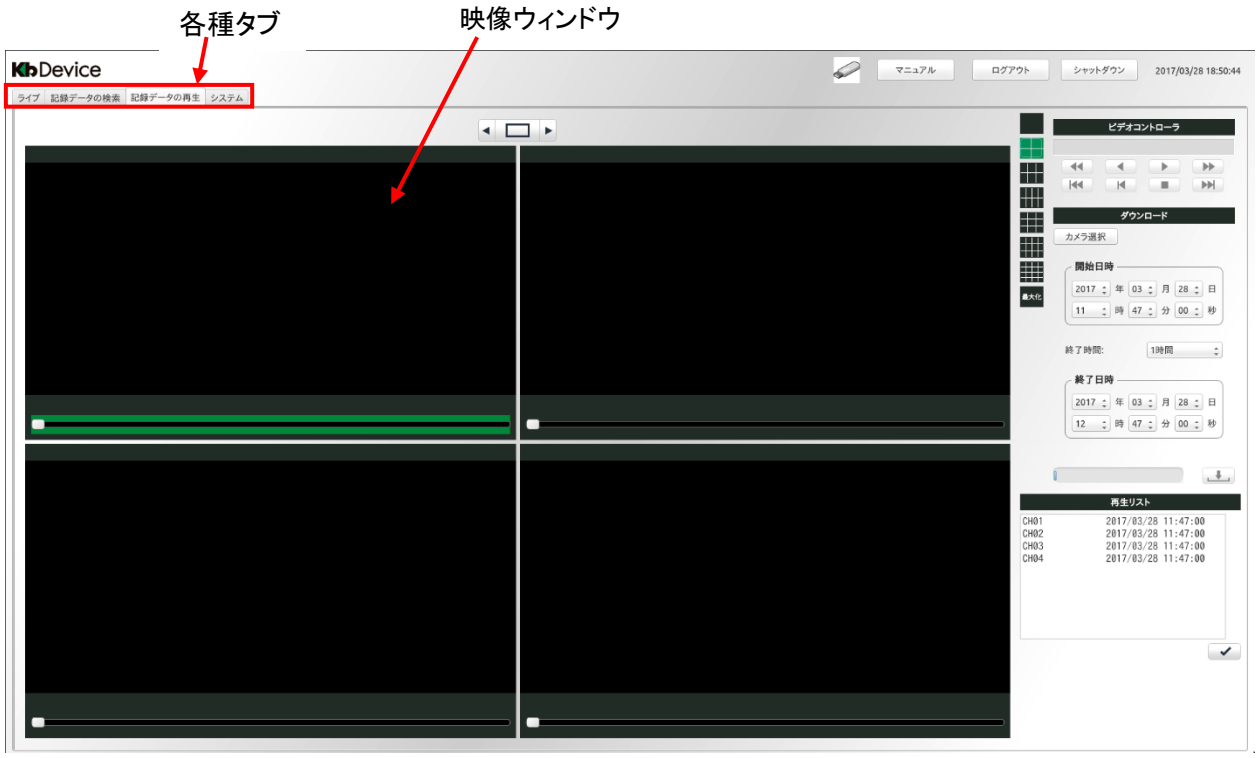
画面の左上の「記録データの再生」をクリックすると再生画面に移動します。



本画面で記録データの再生を行う場合は、あらかじめ、再生開始時刻を設定する必要があります。
記録データの再生手順については、「3-2　検索手順」をご確認ください。

4-2　再生画面の構成

記録映像再生中は以下のように操作ができます。



【　画面分割アイコン　】

再生画面の分割表示数を設定できます。

各アイコンの機能については、「2-1　ライブ画面の構成」をご覧ください。

【　ビデオコントローラ　】

アイコン	内容
◀◀	再生中に 30 秒前の映像に巻き戻します。
◀	再生中に 10 秒前の映像に巻き戻します。
▶	正方向へ映像を再生します。
❚❚	再生中に映像を一時停止します。
▶▶	再生中の映像を早送りします。(2 / 4 / 8 倍速)
❚◀◀	再生中に 1 分前の映像に巻き戻します。
❚◀	映像開始時点に巻き戻し、再生を再開します。
■	再生中の映像を一時停止します。
▶▶❚	再生中に 1 分後の映像に早送りします。

【　ダウンロード　】

記録データを USB メモリーに保存できます。

ダウンロード手順については、「5 章　記録データのダウンロード」をご覧ください。

【　再生リスト　】

「記録データの検索」で設定した再生履歴が表示されます。

画面右下のチェックアイコン をクリックすると、再生履歴を全て削除できます。

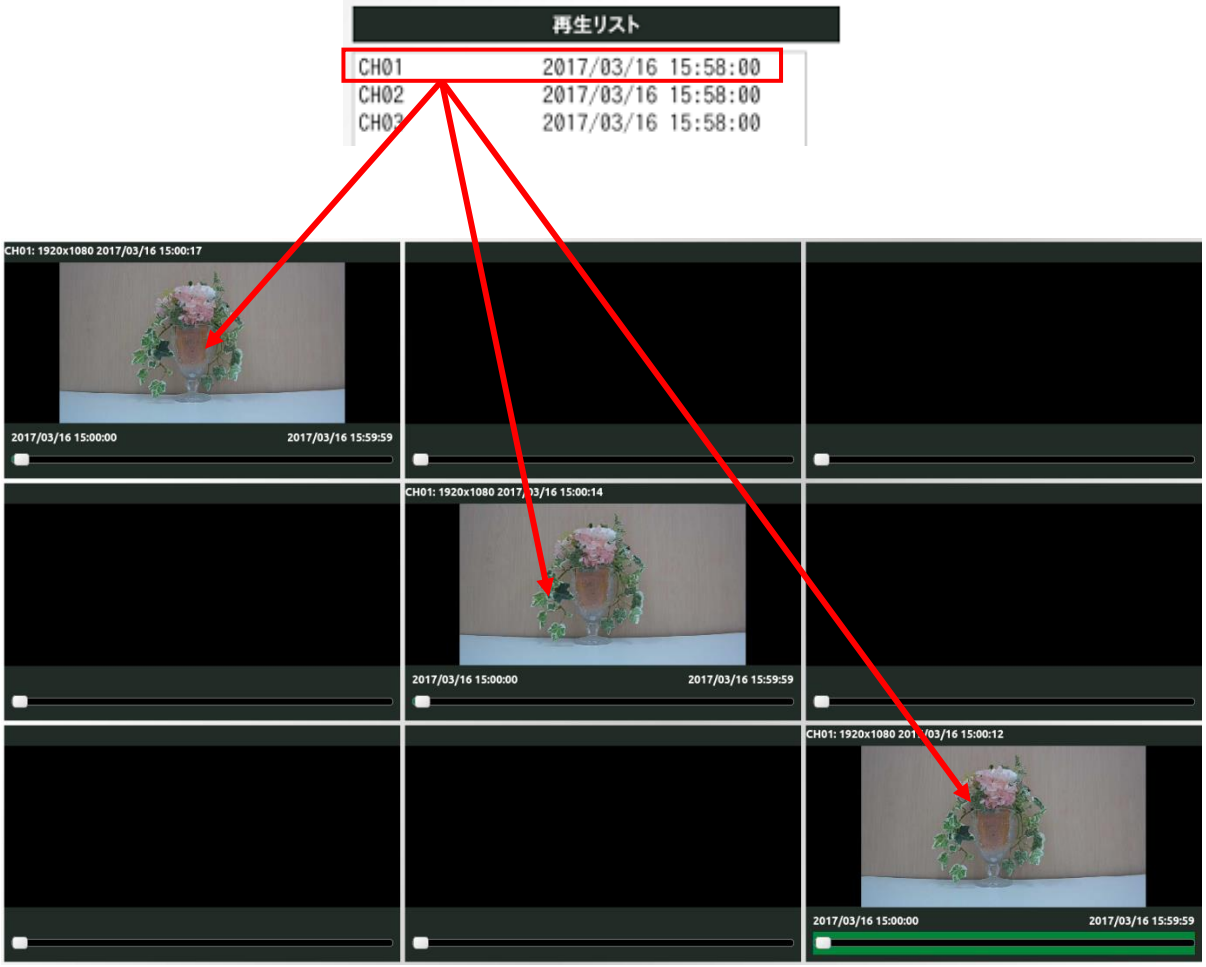
また、再生リストから任意の映像ウィンドウに記録映像を表示させることができます。

詳しくは、「4-3　再生リストからの再生」をご覧ください。

4-3　再生リストからの再生

再生リストのログから、任意の表示ウィンドウに記録映像を表示できます。

1. 「再生リスト」欄からドラッグ&ドロップし、任意のチャンネル枠へ移動します。

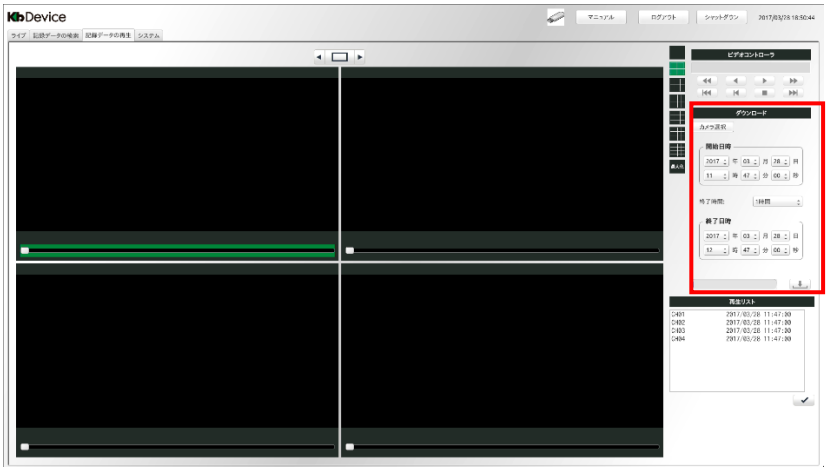


5章　　記録データのダウンロード

本製品に記録されている映像データを USB メモリーに保存できます。

5-1　　ダウンロード画面への移動

画面の左上の「記録データの再生」をクリックし、再生画面に移動します。
再生画面右側の「ダウンロード」から設定ができます。



5-2　　ダウンロード手順

以下の手順で USB メモリーに映像データを保存できます。
※バックアップを行う場合、あらかじめ本製品に USB メモリーを接続した状態で実行してください。

1. 「カメラ選択」をクリックし、バックアップを行うカメラチャンネルを選択します。

選択したカメラチャンネルのボックスにはチェックが入ります。
「全て選択」をクリックすると、全てのカメラチャンネルをバックアップ対象として設定します。

2. 「開始日時」欄にて、バックアップを行う開始日時を設定します。
※「記録データの検索」で、記録データの再生開始日時を設定した場合、自動的に
同じ日時が入力されます。

3. 「終了時間」欄にて、開始日時から何分間の映像をバックアップするかを設定します。

選択肢 ： 5 分 ／ 10 分 ／ 15 分 ／ 30 分 ／ 45 分 ／ 1 時間 ／ 1 時間 30 分 ／ 2 時間 ／ 2 時間 30 分
3 時間

例 ： 終了時間が 10 分の場合、開始日時から 10 分間の映像がバックアップ対象となります。

4. 「終了日時」欄に、バックアップ終了日時が表示されていることを確認します。

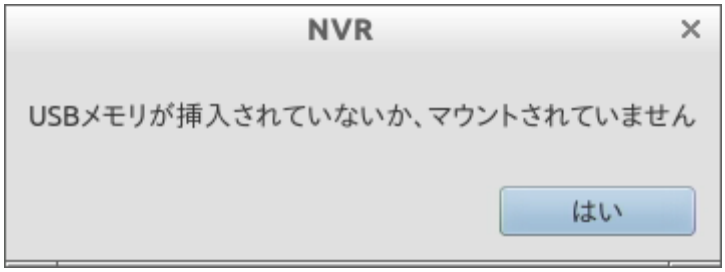
※「終了時間」を設定すると、自動的に終了日時が設定されます。

5. ダウンロード開始アイコン をクリックします。

※自動的にダウンロードを開始します。

ダウンロード中に 中止 をクリックすると、ダウンロードを中止します。

※以下のメッセージが表示された場合は、本製品に USB メモリーが正しく接続できているかご確認ください。



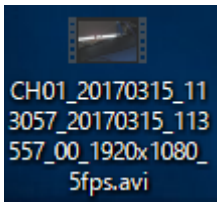
USB メモリーの接続については、「1-4-4 USB デバイスの接続」をご覧ください。

6. ダウンロード完了のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックして完了です。

5-3　PC でのダウンロード映像の再生

バックアップした映像を PC で再生できます。
対応 OS は、Windows7 / 8 / 8.1 / 10 です。

バックアップしたメディアを PC で開くと、以下のようなバックアップ映像ファイルが保存されています。



ファイル名 ： チャンネル番号＿映像開始点の年月日時分秒＿映像終了点の年月日時分秒＿保存回数＿記録解像度＿FPS 値

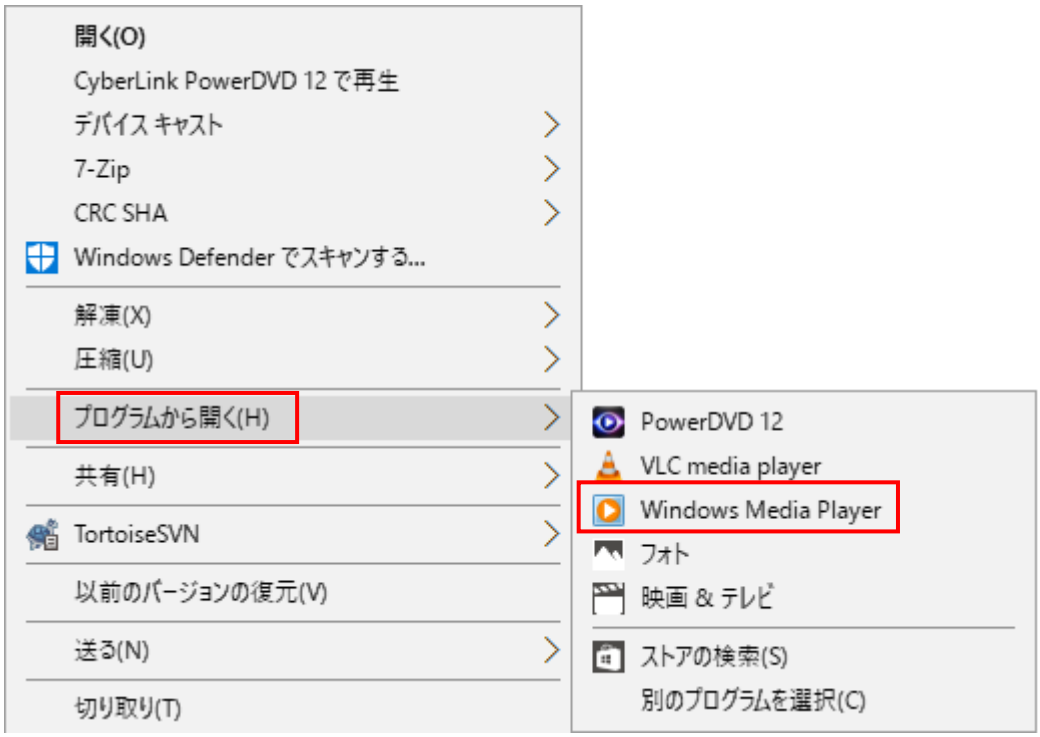
5-3-1　Windows Media Player での再生

【 Windows7 の場合 】

バックアップ映像ファイルをダブルクリックすると、Windows Media Player で自動再生されます。

【 Windows10 の場合 】

1. バックアップ映像ファイルを右クリックし、「プログラムから開く」を選択します。
2. 「Windows Media Player」を選択すると、再生を開始します。

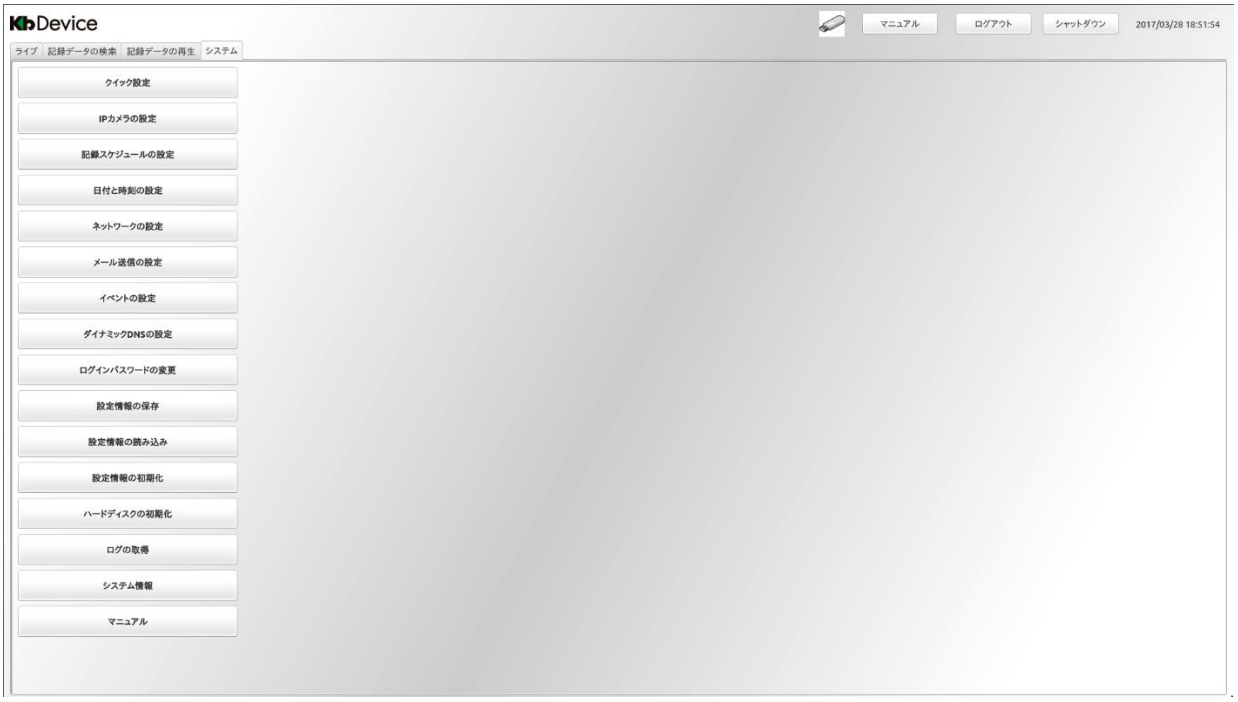


6章　　システム

本製品へのカメラ登録やネットワーク設定など各種設定ができます。

6-1　　システム画面への移動

画面左上の「システム」をクリックし、システム設定画面に移動します。



各設定項目については、以降のページをご覧ください。

6-2　　IP カメラ登録

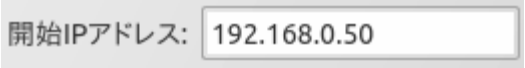
6-2-1　　クイック設定

本製品に同じメーカーの IP カメラを複数台登録する場合、一括で IP カメラ情報を登録できます。
既に IP カメラが登録されている場合は、設定時に初期化されます。
以下の手順で、登録を行ってください。

1. 「システム」画面左の「クイック設定」をクリックします。
※クイック設定画面が表示されます。

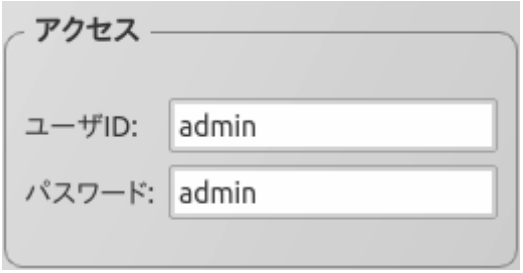
2. 「メーカー」欄にて、登録する IP カメラのメーカーを設定します。

3. 「開始 IP アドレス」欄にて、複数台ある IP カメラアドレスの先頭アドレスを設定します。
例 ：「192.168.0.50」の場合、0.50 ／ 0.51 ／ 0.52 ・・・と順番に登録できます。



4. 「カメラ台数」欄にて、登録するカメラ台数を設定します。

5. 「アクセス」欄にて、登録するカメラにアクセスするためのユーザーID とパスワードを設定します。
※登録するカメラによってユーザーID とパスワードは異なる場合があります。



6. 「ライブ」欄にて、ライブ画面でのストリーム情報を設定します。

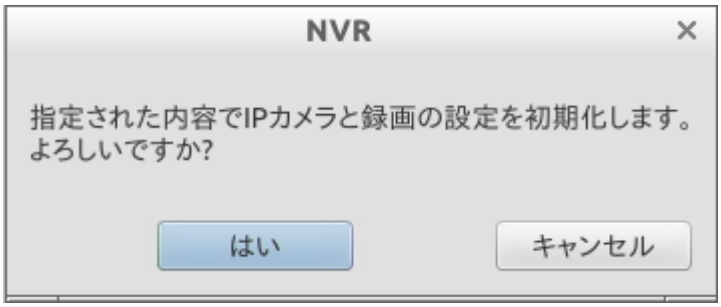
- コーデック ： 映像圧縮方式です。
- ストリーム番号 ： IP カメラ側で設定されているストリーム情報を参照します。
  ストリーム情報の確認については、IP カメラ側の取扱説明書をご覧ください。
- 画像サイズ ： 画面上で表示する解像度を設定します。
- フレームレート ： 画面上でのフレームレートを設定します。

7. 「記録」欄にて、記録時のストリーム情報を設定します。

設定内容については、「ライブ」と同様です。

8. 設定完了後、画面右下の「設定」をクリックします。

9. 確認メッセージが表示されたら「はい」をクリックします。



既に本製品に登録済みのカメラ情報は削除されます。

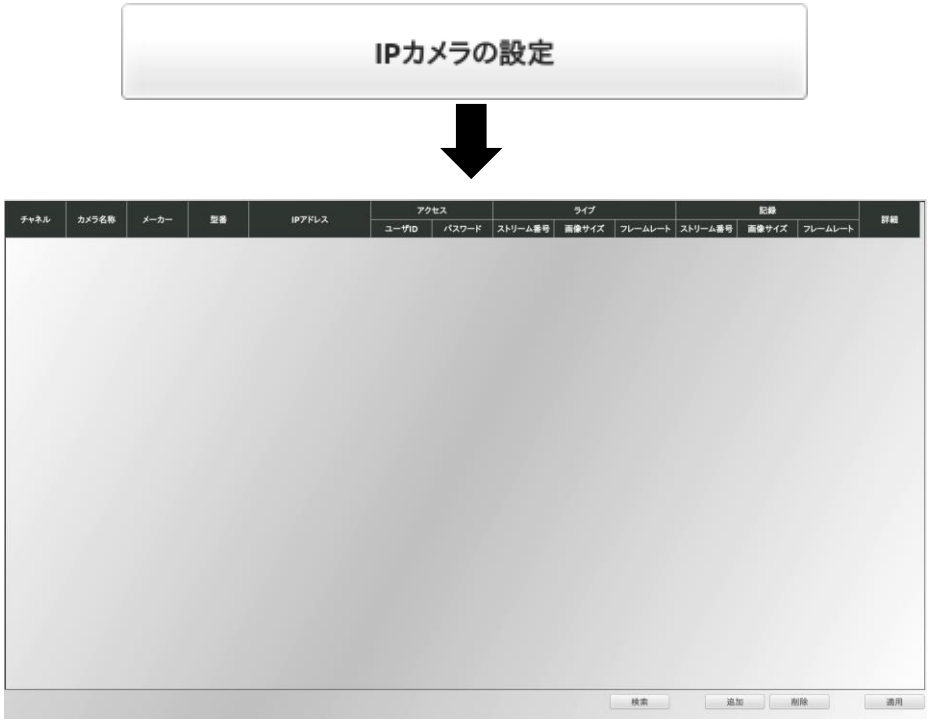
10. ライブ画面に移動し、登録情報をもとにライブ映像の表示を開始します。
※正常にライブ映像が表示されない場合は、登録情報を再度ご確認ください。

カメラを登録後、記録を開始するには、記録スケジュールの設定が必要です。
続けて、記録スケジュールを設定する場合は、「6-3 記録スケジュールの設定」をご覧ください。

6-2-2　IP カメラの設定

本製品に 1 台ごとに IP カメラを登録できます。
以下の手順で、登録を行ってください。

1. 「システム」画面左の「IP カメラの設定」をクリックします。
※設定画面が表示されます。



2. 画面右下の「追加」をクリックします。
※画面上のリスト欄に行が追加されます。

3. 「カメラ名称」欄をダブルクリックし、ライブ画面上で表示するカメラタイトルを設定します。
※未設定の場合は、ライブ画面上では非表示になります。

4. 「メーカー/機種」欄にて、登録する IP カメラのメーカー名と機種を設定します。

5. 「IP アドレス」欄をダブルクリックし、登録する IP カメラのアドレスを入力します。
※カメラの IP アドレスの確認方法については、IP カメラの取扱説明書をご覧ください。

6. 「アクセス」欄の「ユーザーID」と「パスワード」をダブルクリックし、IP カメラのユーザーID とパスワードを入力します。

※カメラのユーザーID とパスワードの確認については、IP カメラの取扱説明書をご覧ください。

7. 「ライブ」欄の「ストリーム番号」、「画像サイズ」、「フレームレート」をそれぞれ設定します。

- 表示 ： ライブ画面上で映像の表示/非表示を設定します。
  非表示にした場合、ライブ画面上ではライブ映像が表示されません。
- ストリーム番号 ： IP カメラ側で設定されているストリーム情報を参照して映像を表示します。
  ストリーム情報の確認については、IP カメラの取扱説明書をご覧ください。
- 画像サイズ ： ライブ画面上で表示する解像度を設定します。
- フレームレート ： ライブ画面上でのフレームレートを設定します。

※登録するカメラによっては、設定ができない項目があります。

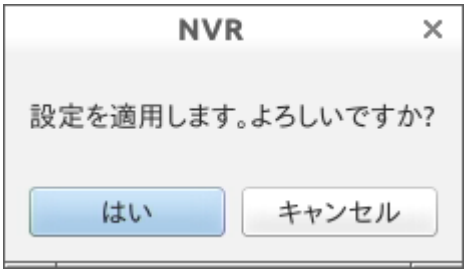
8. 「記録」欄の「ストリーム番号」、「画像サイズ」、「フレームレート」をそれぞれ設定します。

設定内容については、「ライブ」と同様です。
※登録するカメラによっては、設定ができない項目があります。

9. 「詳細」欄では、登録するカメラ本体の設定ができます。
「設定」をクリックすると、カメラの WEB 設定画面が表示されます。
カメラ本体の設定については、カメラ側の取扱説明書をご覧ください。

10. 各種設定が完了後、画面右下の「適用」をクリックします。

11. 確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。



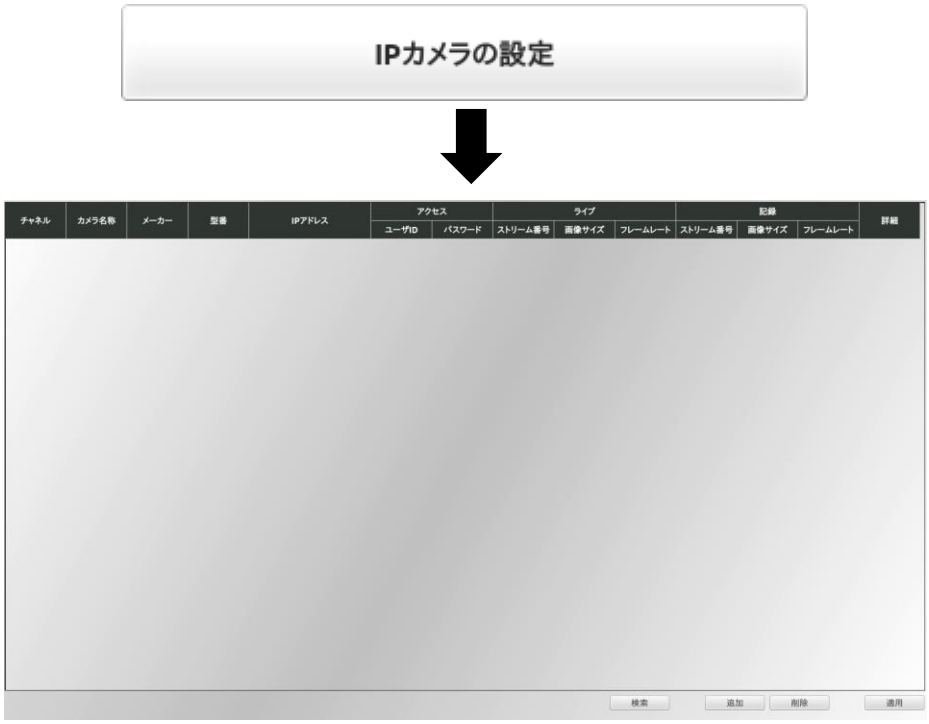
適用完了後、ライブ画面に移動し、登録情報をもとにライブ映像の表示を開始します。
※正常にライブ映像が表示されない場合は、登録情報を再度ご確認ください。

カメラを登録後、記録を開始するには、記録スケジュールの設定が必要です。
続けて、記録スケジュールを設定する場合は、「6-3 記録スケジュールの設定」をご覧ください。

6-2-3　　自動検索

当社指定のカメラを本製品に接続する場合、メーカー名や IP アドレスを自動的に検索でき登録手順が容易になります。
以下の手順で、カメラの登録を行ってください。

1. 「システム」画面左の「システム」画面左の「IP カメラの設定」をクリックします。
※設定画面が表示されます。



2. 画面右下の「検索」をクリックします。

3. 確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

4. 検索完了後、「メーカー/機種」、「IP アドレス」が認識した情報で登録されます。

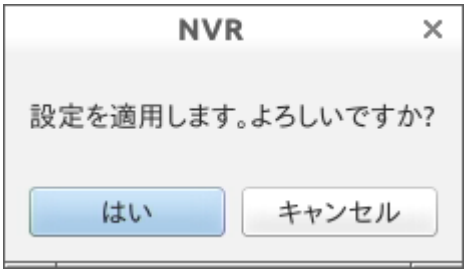
チャネル	カメラ名称	メーカー / 機種	IPアドレス	アクセス		ライブ				記録			詳細
				ユーザID	パスワード	表示	ストリーム番号	画像サイズ	フレームレート	ストリーム番号	画像サイズ	フレームレート	
CH01		KbDevice / LC	192.168.0.205	admin	admin	する	2	1280x720	10	1	1280x720	5	設定
CH02		KbDevice / LC	192.168.0.65	admin	admin	する	2	1280x720	10	1	1280x720	5	設定
CH03		KbDevice / LC	192.168.0.74	admin	admin	する	2	1280x720	10	1	1280x720	5	設定
CH04		KbDevice / LC	192.168.0.80	admin	admin	する	2	1280x720	10	1	1280x720	5	設定

5. 検索完了後、メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

6. 「カメラ名称」、「ユーザーID/パスワード」、「ライブ」、「記録」欄の情報を設定します。
各項目の設定内容については、「6-2-2 IP カメラの設定」をご覧ください。

7. 各設定完了後、画面右下の「適用」をクリックします。

8. 確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。



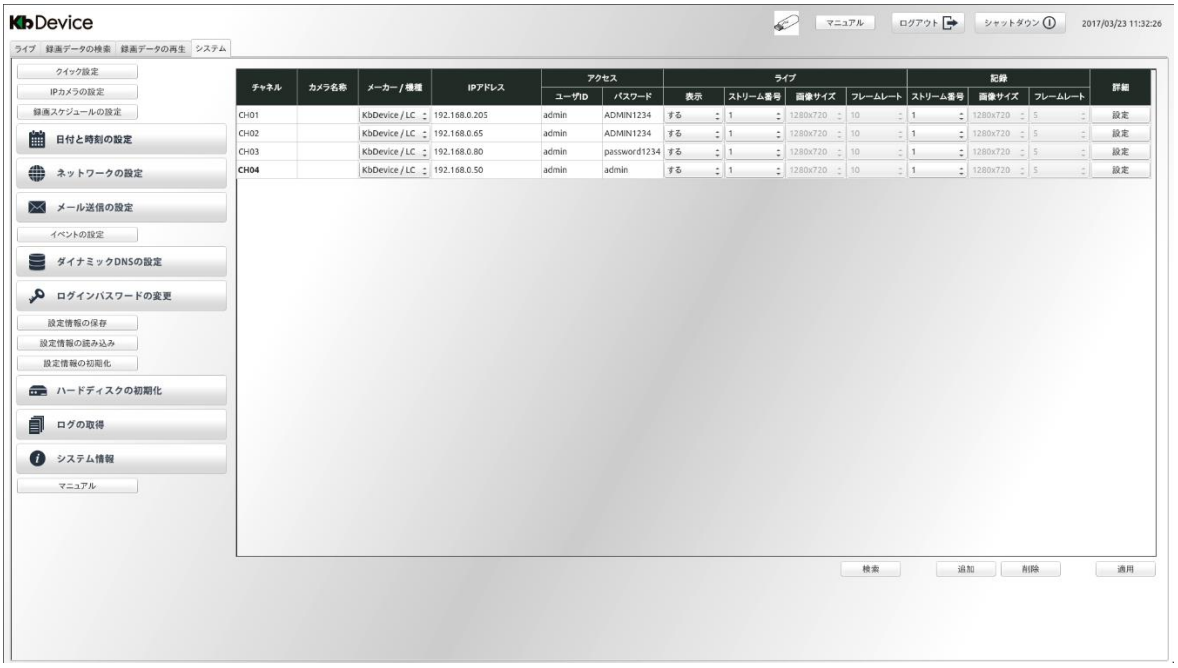
適用完了後、ライブ画面に移動し、登録情報をもとにライブ映像の表示を開始します。
※正常にライブ映像が表示されない場合は、登録情報を再度ご確認ください。

カメラを登録後、記録を開始するには、記録スケジュールの設定が必要です。
続けて、記録スケジュールを設定する場合は、「6-3 記録スケジュールの設定」をご覧ください。

6-2-4　　カメラの削除

登録済みにカメラ情報を削除できます。
以下の手順で、カメラ情報の削除を行ってください。

1.　「システム」画面左の「システム」画面左の「IP カメラの設定」をクリックします。



2.　カメラリストのうち、削除したい行をクリックします。

3.　選択後、画面右下の「削除」をクリックします。

4.　確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

5. 再度メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

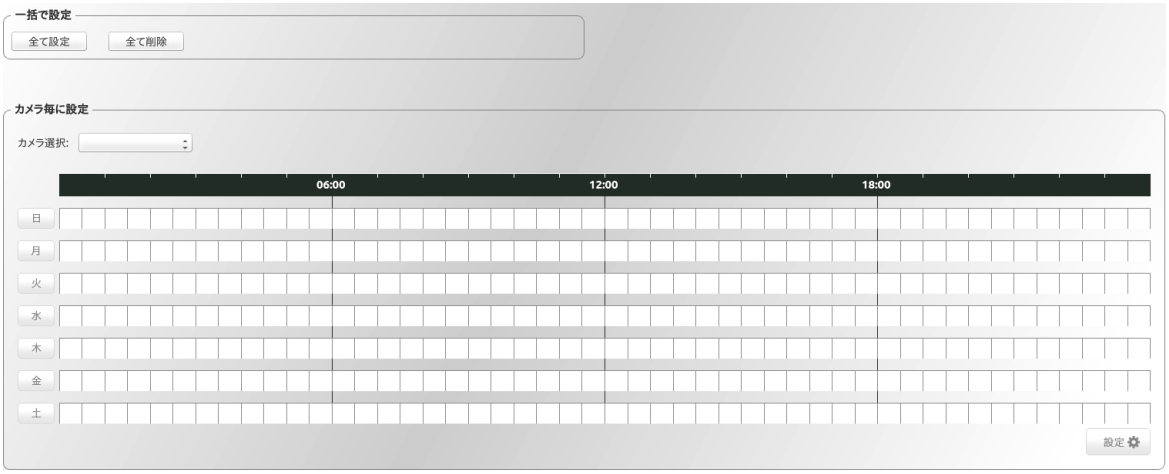
6. カメラリストから削除されていることを確認し、画面右下の「適用」をクリックします。

新しく、カメラ情報を登録する場合は、「6-2-2 IP カメラの設定」をご覧ください。

6-3　　記録スケジュールの設定

本製品に登録したカメラの記録タイミングを設定できます。
以下の手順で記録スケジュールを設定してください。

画面左の「記録スケジュールの設定」をクリックします。

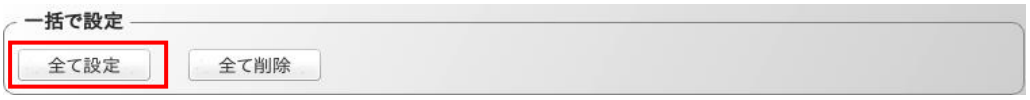


6-3-1　　スケジュール設定手順

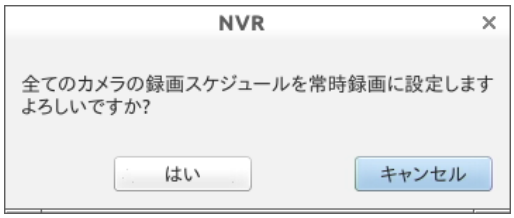
【　一括で設定する場合　】

登録した全てのカメラに対して、常時記録の設定ができます。

1.　「一括で設定」内の「全て設定」をクリックします。



2.　確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。



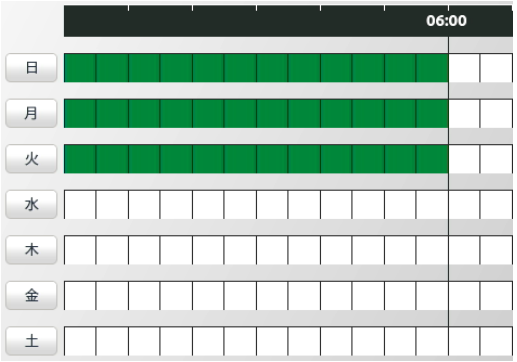
3. 反映完了のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックし、完了です。

【 カメラ毎に設定する場合 】

記録スケジュールをカメラ毎に個別に設定できます。

1. 「カメラ毎に設定」の「カメラ選択」からスケジュール設定を行いたいカメラチャンネルを選択します。

2. チャンネル選択後、タイムライン上で記録機能を有効にするマスをクリックします。
※ドラッグ&ドロップでも設定できます。



記録機能が有効なマスは、緑色で表示されます。
また、曜日欄をクリックすると、選択した曜日の全ての時間に対して記録機能を有効にします。

3. 記録スケジュールの設定後、画面右下の「設定」をクリックします。

4. 反映完了のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックして、設定は完了です。

6-4　日付と時刻の設定

本製品の日時を設定できます。

システム画面左の「日付と時刻の設定」をクリックします。

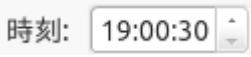
【　手動で設定する場合　】

本製品の日時を手動で設定できます。

画面右側の「日付と時刻」タブをクリックします。

1. カレンダー上で、現在の日付を選択します。
   選択した日付は、青色で表示されます。

2. カレンダー下の「時刻」欄で現在の時刻を設定します。



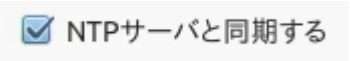
3. 設定完了後は、「設定」をクリックします。

【 NTP で同期する場合 】

本製品は NTP サーバーと同期して時刻を設定できます。

画面右側の「NTP で同期」タブをクリックします。

1. 「NTP サーバーと同期する」のチェックボックスをクリックします。



2. 「NTP サーバー」欄に NTP サーバードレスを入力します。

3. 「同期間隔」欄で、NTP サーバーとの同期タイミングを設定します。

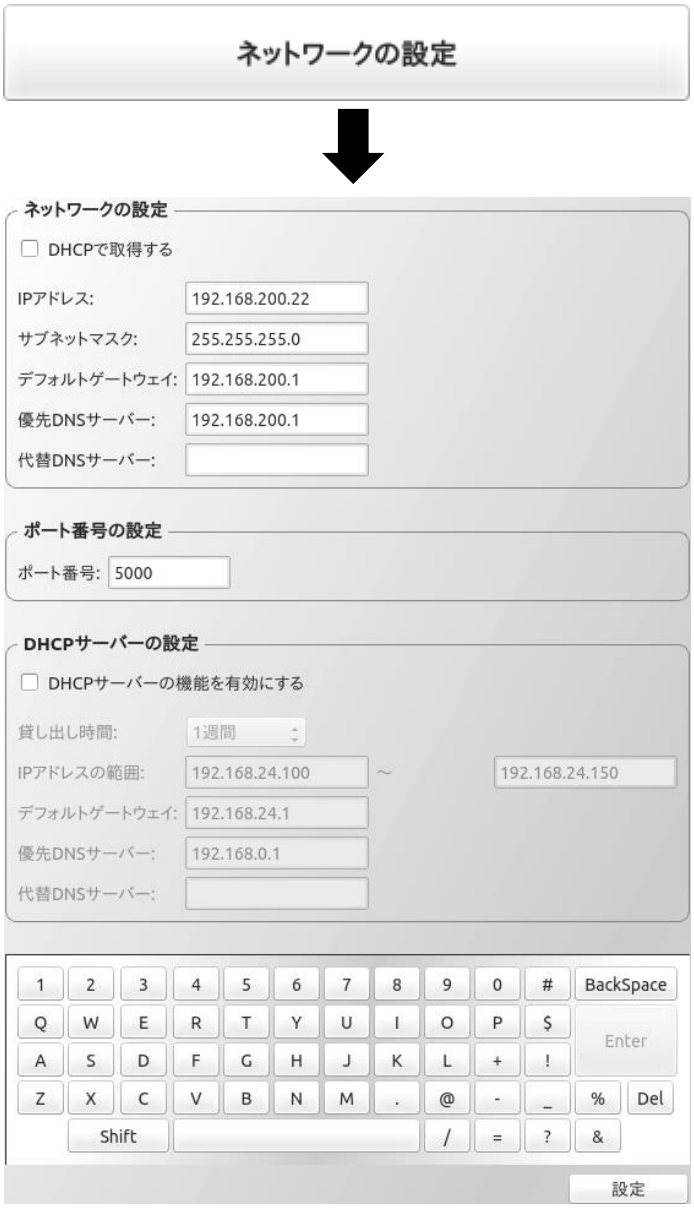
選択肢 ： 1 分 ／ 5 分 ／ 15 分 ／ 30 分 ／ 1 時間 ／ 3 時間 ／ 6 時間 ／ 12 時間 ／ 1 日

4. 設定完了後、「設定」ボタンをクリックします。

6-5　ネットワークの設定

本製品のアドレスなどネットワーク設定ができます。

システム画面左の「ネットワークの設定」をクリックします。



【 ネットワークの設定 】

項目	内容
DHCP で取得する	DHCP サーバーを利用して本製品のアドレスを自動取得します。
IP アドレス	本製品の IP アドレスを設定します。 同じネットワークエリア内にあるネットワーク機器の IP アドレスと 重複しないように設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルト ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。
優先 DNS サーバー	DNS サーバードレスを設定します。
代替 DNS サーバー	代替用の DNS サーバードレスを設定します。

【 ポート番号の設定 】

項目	内容
ポート番号	ネットワークポート番号を設定します。

【 DHCP サーバーの設定 】

項目	内容
DHCP サーバーの 機能を有効にする	DHCP サーバーを使用する場合は、チェックボックスをクリックします。
貸し出し時間	アドレスの貸し出し期間を設定します。 選択肢 ： 1 時間 ／ 3 時間 ／ 6 時間 ／ 12 時間 ／ 1 日 ／ 1 週間
IP アドレスの範囲	貸し出すアドレスの範囲を設定します。
優先 DNS サーバー	DNS サーバーを設定します。
代替 DNS	代替用の DNS サーバードレスを設定します。

※本機能を使用する場合は、カメラ側のネットワーク設定を自動取得状態に設定してください。

【 設定 】

各種設定完了後、必ず、「設定」をクリックしてください。

ネットワーク設定を変更した場合、本製品をシャットダウンし、再起動する必要があります。

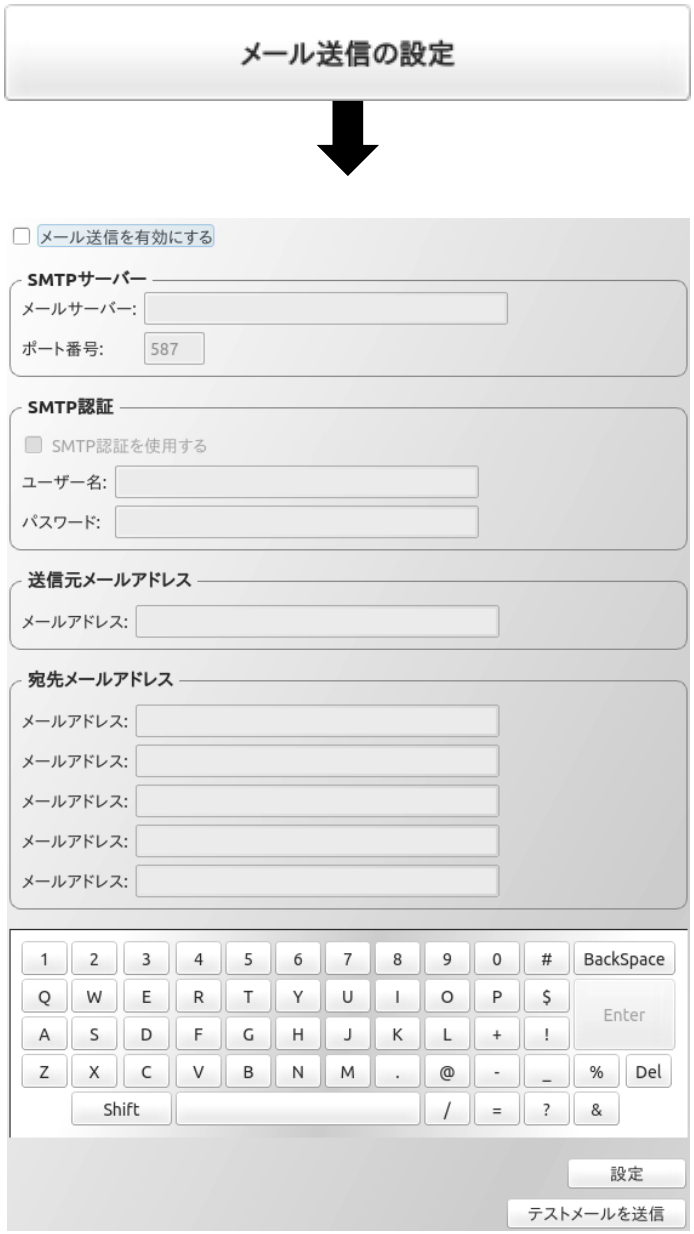
確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックし、本製品を再起動してください。

シャットダウンについては、「1-6-2 シャットダウン」をご覧ください。

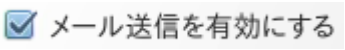
6-6　　メール送信の設定

本製品のメール送信機能を設定できます。

システム画面左の「メール送信の設定」をクリックします。



本機能を使用する場合は、「メール送信を有効にする」のチェックボックスをクリックしてください。

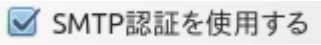


【 SMTP サーバー 】

項目	内容
メールサーバー	SMTP サーバーのアドレスを設定します。
ポート番号	SMTP サーバーのポート番号を設定します。

【 SMTP 認証 】

SMTP 認証を有効にする場合は、チェックボックスをクリックしてください。



項目	内容
ユーザー名	SMTP サーバーに登録されているユーザー名を設定します。
パスワード	SMTP サーバーに登録されているパスワードを設定します。

【 送信元メールアドレス 】

項目	内容
メールアドレス	メール送信元アドレスを設定します。

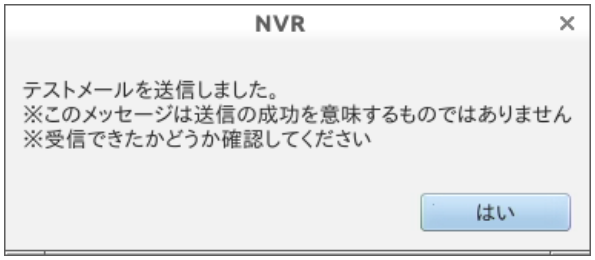
【 宛先メールアドレス 】

項目	内容
メールアドレス	メール受信元アドレスを設定します。 最大 5 名まで登録できます。

【 テストメールを送信 】

設定したメールアドレスにテストメールを送信できます。

「テストメールを送信」をクリック後、確認メッセージが表示されます。



メールの受信ができない場合は、アドレスや登録情報に間違いがないかご確認ください。

【 設定 】

各種設定完了後、必ず、「設定」をクリックしてください。

6-7　　イベントの設定

メール送信のトリガーとなるイベントを設定できます。
なお、メールサーバーや送信先アドレスをあらかじめ設定する必要があります。
メール送受信設定については、「6-6 メール送信の設定」をご覧ください。

システム画面左の「イベントの設定」をクリックします。

- ネットワーク障害 ： カメラのビデオロスが発生した際にメールを送信します。
- HDD 障害 ： HDD の認識エラーなど HDD に異常があった際にメールを送信します。

各項目のチェックボックスをクリックすることで、トリガーを有効にできます。

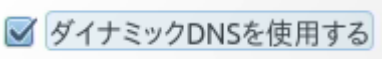
【 設定 】
各種設定完了後、必ず、「設定」をクリックしてください。

6-8　　ダイナミック DNS の設定

ダイナミック DNS の設定ができます。

システム画面左の「ダイナミック NDS の設定」をクリックします。

本機能を使用する場合は、「ダイナミック DNS を使用する」のチェックボックスをクリックしてください。



本製品のホスト名は、変更することができません。

【　設定　】

各種設定完了後、必ず、「設定」をクリックしてください。

ダイナミック DNS 設定を変更した場合、本製品をシャットダウンし、再起動する必要があります。

確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックし、本製品を再起動してください。

シャットダウンについては、「1-6-2　シャットダウン」をご覧ください。

6-9　ログインパスワードの変更

本製品へのログイン時のパスワード変更できます。

第三者による不正アクセス防止のため、パスワードは変更することをお勧めします。

設定したパスワードは、メモをとるなどいつでも確認がとれるようにしてください。

また、紛失しないように管理してください。

システム画面左の「ログインパスワードの変更」をクリックします。

6-9-1　パスワード変更手順

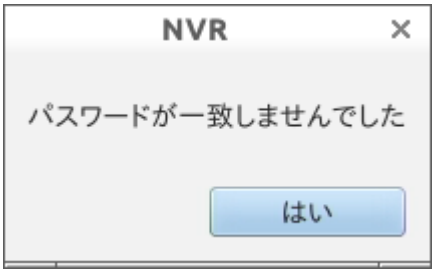
以下の手順でパスワードの変更ができます。

1. 「パスワード」欄に新しいパスワードを入力します。

2. 「パスワード（再入力）」に「パスワード」と同じ値を入力します。

3. パスワード設定後、「変更」をクリックします。

※パスワードが不一致の場合は、以下のようなメッセージが表示されます。
「はい」をクリックし、再度パスワードを入力し直してください。



4. 変更完了のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

5. 1 度、ログアウトし、新しく設定したパスワードでログインできることを確認してください。
ログアウト手順については、「1-6-1 ログアウト」をご覧ください。

6-10　設定情報の保存 / 読み込み

本製品に設定している各設定値を USB メモリーに保存できます。
また、USB メモリーに保存されている設定値を本製品に適用できます。

6-10-1　設定値の保存手順

以下の手順で、本製品の設定値を USB メモリーに保存できます。
設定値を保存する場合、あらかじめ本製品に USB メモリーを接続した状態で実行してください。
USB メモリーの接続については、「1-4-4 USB デバイスの接続」をご覧ください。

1. システム画面左の「設定情報の保存」をクリックします。

※以下のメッセージが表示された場合は、本製品に USB メモリーが正しく接続できているかご確認ください。

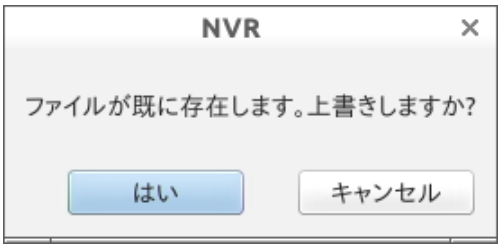
2. 設定情報の保存先を設定します。

3. 保存先を設定後、「選択」をクリックします。

4. 取得完了のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックして完了です。

「nvr_config.tar.gz」というファイルが保存されます。

既に本製品のシステムファイルが保存されている場合は、上書きされます。
確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックし、保存を続行してください。

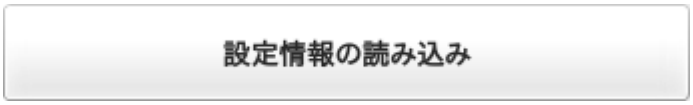


※保存した設定情報を別の本製品に適用する場合は、「6-10-2 設定値の読み込み手順」をご覧ください。

6-10-2　設定値の読み込み手順

以下の手順で、USB メモリーに保存されている本製品の設定情報を読み込むことができます。

1. システム画面左の「設定情報の読み込み」をクリックします。

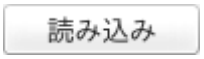


※以下のメッセージが表示された場合は、本製品に USB メモリーが正しく接続できているかご確認ください。

2. 本製品のシステムファイルを選択します。

本製品のシステムファイル名は、「nvr_config.tar.gz」となっています。

3. システムファイル選択後、「読み込み」をクリックします。



4. システムファイルが正常に読み込み後、設定反映のために、本製品をシャットダウンし、再起動する必要があります。

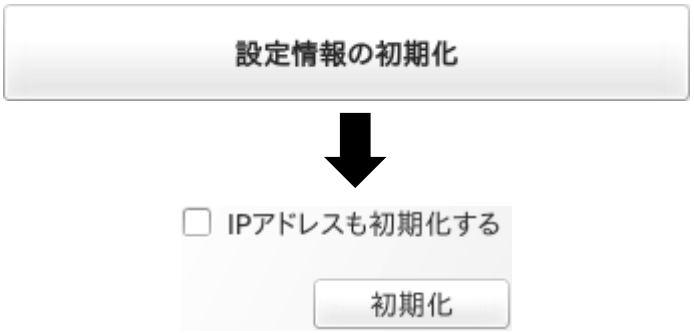
確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックし、再起動を行ってください。

シャットダウンについては、「1-6-2 シャットダウン」をご覧ください。

6-11　設定情報の初期化

本製品に設定されている設定情報を全て初期化できます。

システム画面左の「設定情報の初期化」をクリックします。



「IP アドレスも初期化する」をクリックすると、本製品のネットワークアドレスも初期化されます。
カメラの設定によっては、ライブ画面が表示されなくなる場合があります。

「初期化」をクリックすると、確認画面が表示されます。

続行する場合は、「はい」をクリックします。

初期化完了後は、再度、パスワードを設定する必要があります。
初期パスワード設定については、「1-5-1　初回起動時のパスワード設定」をご覧ください。

6-12　ハードディスクの初期化

本製品に搭載されている HDD に保存されている全ての映像を消去できます。
初期化を行う前に、バックアップをとることをお勧めします。

システム画面左の「ハードディスクの初期化」をクリックします。

画面右側のリスト内に本製品に搭載されている HDD が表示されます。
「初期化」をクリックすると、確認メッセージが表示されます。
メッセージが表示されたら、「はい」をクリックし、本製品をシャットダウンし、再起動してください。

シャットダウンについては、「1-6-2 シャットダウン」をご確認ください。

6-13　ログの取得

本製品の動作ログを取得できます。

ログを取得する場合、あらかじめ本製品に USB メモリーを接続した状態で実行してください。

システム画面左の「ログの取得」をクリックします。

※以下のメッセージが表示された場合は、本製品に USB メモリーが正しく接続できているか
　ご確認ください。

6-13-1　ログ取得手順

以下の手順でログを取得できます。

1. 日付一覧の中から、取得したい日付をクリックします。
※1 度に複数の日付ログを選択できます。

「全て取得」をクリックした場合は、本製品に保存されている全ての動作ログを 1 度に取得できます。

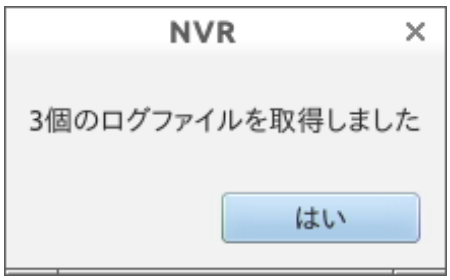
2. ログを選択後、「選択したものを取得」をクリックします。

3. ログの保存先を選択します。

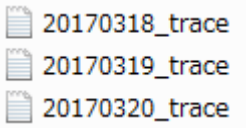
※ログのファイル名は設定できません。

4. 保存先を設定後、「選択」をクリックします。

5. 取得完了のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックしてログの取得は完了です。



USB メモリー内には、「取得日_trace.log」という名前でログファイルが保存されます。



クライアント PC 上でテキストファイルをダブルクリックすることで、動作ログを確認できます。

6-14　　システム情報

本製品のシステムバージョンやネットワーク情報を確認できます。

システム画面左の「システム情報」をクリックします。

```
*****【バージョン】*****
GUI   : 20170322.00
サーバ: 20170321.00

*****【CPUの温度】*****
CPU0: 37
CPU1: 37
CPU2: 40
CPU3: 40

*****【ディスクの情報】*****
Filesystem      Size  Used Avail Use% Mounted on
/dev/sdc1       7.2G  3.1G  3.8G  45% /
/dev/sda1       235G  125G   98G  57% /var2

*****【ネットワークインタフェースの情報】*****
eth0: IPアドレス:192.168.200.22  ネットマスク:255.255.255.0  MACアドレス:D05099AFA330

*****【ルーティングテーブルの情報】*****
受信先サイト    ゲートウェイ    ネットマスク    フラグ   MSS Window  irtt インタフェース
0.0.0.0         192.168.200.1   0.0.0.0         UG         0 0          0 eth0

*****【プロセスの情報】*****
USER       PID %CPU %MEM    VSZ   RSS TTY      STAT START   TIME COMMAND
root      1094  0.0  0.0   3980   676 ?        Ss   01:51   0:00 /opt/kbs/bin/wdt_kbsd -D
root      1149  0.0  0.0   2024    56 ?        Ss   01:51   0:00 /opt/kbs/bin/watch_kbsd -D
kbs       2048 10.5  0.5 357168 21588 ?        Ssl  01:56   4:33 /opt/kbs/bin/kbsd -D
```

【　バージョン　】

本製品の GUI/サーバーの FW バージョンを表示します。

【　CPU の温度　】

本製品に搭載されている CPU の現在の温度を表示します。

【　ディスクの情報　】

本製品に搭載されている HDD の使用状況を表示します。

【　ネットワークインターフェースの情報　】/【　ルーティングテーブルの情報　】

本製品のネットワークアドレス情報を表示します。

【　プロセスの情報　】

本製品のタスク状況を表示します。

6-15　マニュアル

本製品の取扱説明書およびクライアントソフトを USB メモリーに保存できます。
ダウンロードする場合は、あらかじめ本製品に USB メモリーを接続した状態で
実行してください。

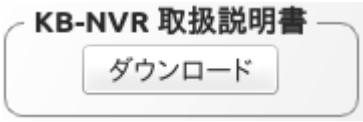
システム画面左の「マニュアル」をクリックします。

※以下のメッセージが表示された場合は、本製品に USB メモリーが正しく接続できているか
　ご確認ください。

6-15-1　マニュアルのダウンロード手順

以下の手順で、マニュアルをダウンロードできます。

1. 「KB-NVR 取扱説明書　ダウンロード」をクリックします。



※以下のメッセージが表示された場合は、本製品に USB メモリーが正しく接続できているかご確認ください。

2. マニュアルの保存先を設定します。

3. 「ファイル名」欄で、保存名を設定します。

4. ファイル名を設定後、「保存」をクリックします。

5. ダウンロード完了のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックして完了です。

6-15-2　クライアントソフトのダウンロード手順

以下の手順で、クライアントソフトをダウンロードできます。

1. 「クライアントソフト　ダウンロード」をクリックします。

クライアント PC の OS が 32bit の場合は、「32bit 版　ダウンロード」を
クライアント PC の OS が 64bit の場合は、「64bit 版　ダウンロード」をそれぞれクリックしてください。

※以下のメッセージが表示された場合は、本製品に USB メモリーが正しく接続できているか
ご確認ください。

2. クライアントソフトの保存先を設定します。
3. 「ファイル名」欄で、保存名を設定します。
4. ファイル名を設定後、「保存」をクリックします。

5. ダウンロード完了のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックして完了です。

クライアントソフトの使用方法については、「KB-NVR シリーズ_クライアントソフト導入マニュアル」をご覧ください。

7章　　製品仕様

品番		KB-AHR16A	KB-AHR08A	KB-AHR04A
本体	カメラ入力数	16	8	4
	カメラ入力信号	IP		
	入力 インターフェース	マウス		
ハードウェア	電源電圧	AC100V		
	消費電力	最大 200W		
	外径寸法	428（幅） x 89（高さ） x 397（奥行） mm （ラックマウント部及びゴム足除く）		
	質量	約 8.4kg（HDD1 台のとき）		
	動作温度（湿度）	0℃～40℃（ただし結露なきこと）		
ライブ	メインモニター 出力	HDMI、VGA、（1080p ／ 60Hz）		
	シーケンス表示	－		
	PTZ コントロール	○（当社指定カメラのみ）		
	デジタルズーム	○		
	静止画 スナップショット	○		
記録	圧縮形式	H.264 ／ MJPEG（カメラに依存）		
	記録モード	スケジュール記録		
	解像度	カメラに依存		
	記録フレーム数	1～30FPS（カメラに依存）		
音声	音声入力	16 （IP カメラから入力）	8 （IP カメラから入力）	4 （IP カメラから入力）
	音声出力	ステレオミニプラグ		
再生	検索モード	時間検索、モーション、ビデオロス、HDD エラー		
	再生速度	最大 8 倍速		
バックアップ	ファイル形式	AVI		
	保存メディア	USB メモリー		
イベント/アラーム	接点入力	オプション		
	接点出力	オプション		
	モーション検知	○（当社指定カメラのみ）		
	イベント	接点入力、モーション、ビデオロス、HDD エラー		
	アクション	メール送信		

品番		KB-AHR16A	KB-AHR08A	KB-AHR04A
ネットワーク	LAN 端子 （RJ-45）	1（10/100/1000BASE-T）		
	クライアントソフト	ライブ、検索・再生、バックアップ、PTZ コントロール、設定		
	WEB ブラウザ	－		
	スマートフォン	－		
その他	RAID	オプション		
	多言語	－		
	ファームウェア 更新	USB メモリー		
	ネットワーク時刻 同期	○		
推奨 クライアント PC	動作確認済み OS	Windows7、8、8.1、10		
	CPU	Intel Core i5 1GHz 以上と同等以上		
	メモリー	4GB 以上		
	VGA メモリー	－		
	解像度	1024 x 768 以上		
	ネットワーク	100 / 1000BASE-T		
原産国		日本		
セット内容		本体、電源ケーブル、マウス、ラックマウント金具、 簡易取扱説明書		

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

8章　　初期設定リスト

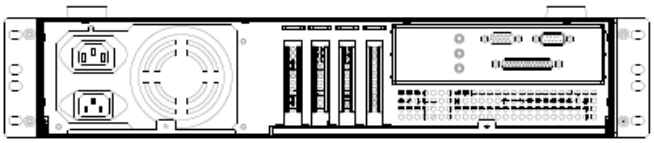
工場出荷時の初期設定値は、以下のようになっています。

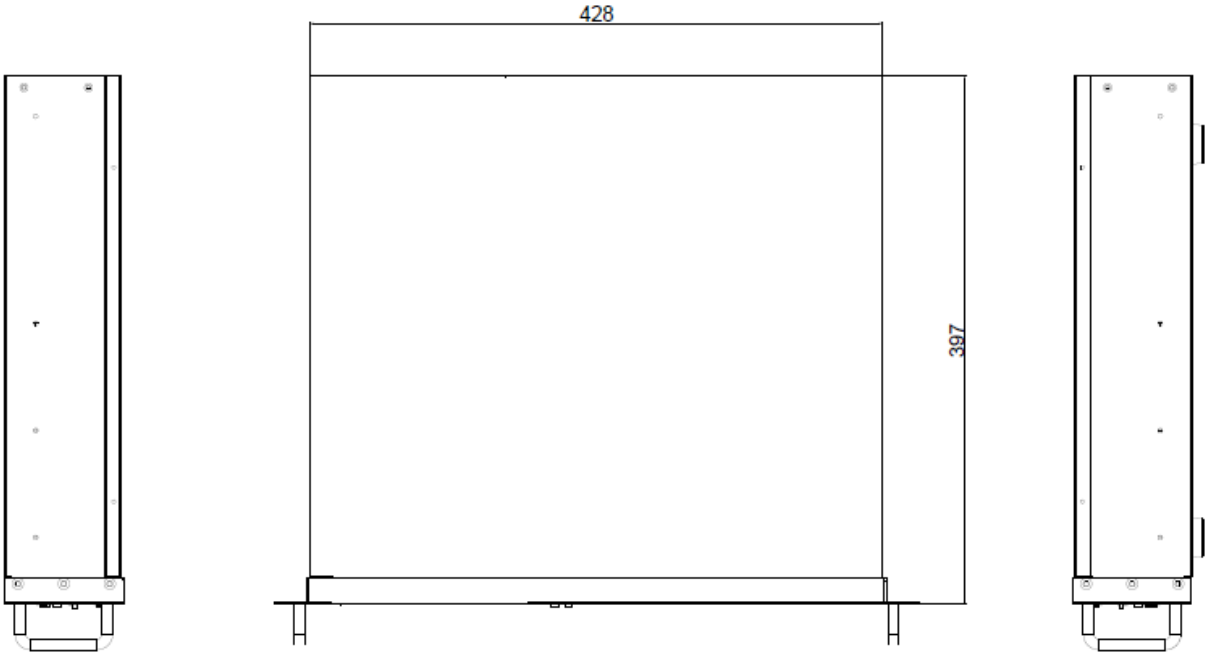
階層	設定項目	初期設定値
ライブ ＞PTZ コントローラ ＞ パン/チルト	1 度に動く角度	5
ライブ ＞PTZ コントローラ ＞ ズーム	ステップ数	10
ライブ ＞PTZ コントローラ ＞ フォーカス	ステップ数	100
システム ＞ クイック設定	メーカー/機種	KbDevice/LC
	開始 IP アドレス	192.168.0.50
	カメラ台数	16
	ユーザーID	admin
	パスワード	admin
システム ＞ クイック設定 ＞ ライブ	ストリーム番号	2
	画像サイズ	1920 x 1080
	フレームレート	1
システム ＞ クイック設定 ＞ 記録	ストリーム番号	1
	画像サイズ	1920 x 1080
	フレームレート	1
システム ＞IP カメラの設定		設定なし
システム ＞ 記録スケジュールの設定		全チャンネル記録機能 OFF
システム ＞ ネットワークの設定 ＞ ネットワークの設定	DHCP で取得する	チェックなし
	IP アドレス	192.168.0.10
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
	優先 DNS サーバー	192.168.0.1
	代替 DNS サーバー	設定なし
システム ＞ ネットワークの設定 ＞ ポート番号の設定	ポート番号	5000
システム ＞ ネットワークの設定 ＞DHCP サーバーの設定	DHCP サーバーの機能を有効にする	チェックなし

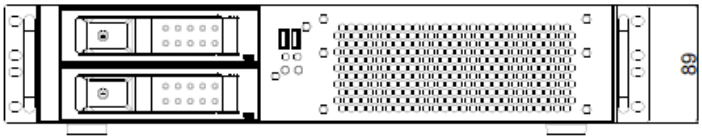
階層	設定項目	初期設定値
システム ＞ メール送信の設定	メール送信を有効にする	チェックなし
システム ＞ メール送信の設定 ＞ SMTP サーバー	ポート番号	587
システム ＞ イベントの設定	ネットワーク障害	チェックなし
	HDD 障害	チェックなし
システム ＞ ダイナミック DNS の設定	ダイナミック DNS を使用する	チェックなし

9章　　外形寸法図

KB-AHR16A（KB-AHR08A / KB-AHR04A も同様）







単位[mm]

10章　録画日数表

表の録画日数はあくまで参考値であり、録画日数を保証するものではありません。

【 HDD 2TB / カメラ 1 台 / 音声記録なし の場合 】

解像度	画質	フレームレート						
		1	2	3	5	10	15	30
1920x1080	長時間	1553	1110	1295	471	379	324	216
	低	1412	740	621	370	251	149	96
	標準	555	370	288	141	81	60	47
	高	518	259	175	102	51	34	33
	最高	392	212	139	83	41	28	27
1280x720	長時間	3107	2219	2589	941	758	647	432
	低	2824	1479	1243	740	501	299	193
	標準	1110	740	575	282	162	119	95
	高	1036	518	349	203	102	68	67
	最高	785	424	278	166	83	56	55
704x480	長時間	7767	5548	6473	2354	1894	1618	1079
	低	7061	3699	3107	1849	1253	747	482
	標準	2774	1849	1438	706	405	298	237
	高	2589	1295	873	508	254	170	167
	最高	1961	1061	696	415	207	139	137

保証書

品番	KB-NVR04A/KB-NVR08A/KB-NVR16A	販売店名
シリアルナンバー(S/N)		
お買い上げ年月日		
保証期間	商品お買い上げ後 5 年間	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※　お願い：太線で囲まれた欄はお買い上げ時に必ずご記入ください。

※　本書は大切に保存してください。再発行は致しません。

<保証規定>

1.　取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、
　　無償にて修理致します。

販売会社もしくは当社へ本ページを切り取ってお申し付けください。

<保証条件>

次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。

1.　取扱説明書にない誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による
　　損傷に起因する故障。
2.　災害など不可抗力による損傷。
3.　本書上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合。

<メンテナンスについて>

1.　防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。
　　詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認ください。

<補修用性能部品の保有期間>

1.　当社は、このデジタルレコーダーの補修用性能部品を、製造打切り後 7 年間保有しています。
　　性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
　　ただし、修理不能の場合は、後継機種によるユニット交換となる場合があります。

株式会社ケービデバイス

本社　〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町 22 番地 2
TEL　075-354-3372　FAX　075-354-3382

製品の定格及びデザインは改良の為予告無く変更することがあります。